

2018年5月10～11日

審査会、国会行動、3000万人署名、幹部自衛官暴言処分、政局、野党共闘、日中韓米、セクハラ、防衛省隠蔽、柳瀬参考人質疑、安保・防衛

衆院憲法審開催へ11日に幹事懇

衆院憲法審査会は10日、今国会初の幹事懇談会を11日に開くことを決めた。審査会の開催に向け、日程やテーマを話し合う。自民、公明両党は、テーマとして、憲法改正の手続きを定めた国民投票法の改正を提案する方針。(時事通信 2018/05/10-19:05)

国会前 「権力私物化許さない」安倍政権抗議の集会

毎日新聞 2018年5月10日 21時51分(最終更新 5月10日 21時51分)

柳瀬唯夫元首相秘書官の参考人質疑が行われた10日、国会前では、安倍政権に抗議する集会が開かれ、「権力私物化、許さない」などとシュプレヒコールが上がった。主催者によると、市民約600人が「安倍内閣は退陣を！」などと書かれたチラシを掲げながら、野党議員らの訴えに聴き入った。

東京都の団体職員、藤原あさこさん(48)は「安倍晋三首相は『丁寧に説明する』と言っているが、一度も聞いたことがない」と首をかしげる。「記憶ではなく、記録に基づいて、疑惑をはっきりさせてほしい」と語気を強めた。

(共同)

しんぶん赤旗 2018年5月11日(金)



(写真) 疑惑徹底追及と安倍内閣総辞職を求める人たち＝10日、衆院第2議員会館前

真実明らかにせよ 総がかり行動実行委 国会前行動

総がかり行動実行委員会は10日、衆院第2議員会館前で国会前行動を行いました。「加計学園」問題で柳瀬唯夫元首相秘書官の参考人質疑が行われたこの日、参加した600人(主催者発表)は柳瀬氏の答弁は信じられないと語り、「権力の私物化を許さない」とコールしました。

主催者あいさつした共同代表の福山真劫さんは、「必ず真実を明らかにしてもらいたい。私たちは、野党の頑張りを全力で支援します」と訴え。このような状況でも、安倍政権は9条改憲を諦めていないと強調し、「3000万人署名を集めきって阻止しよう」と呼びかけました。

安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合から、大学院生の諏訪原健さんがスピーチ。柳瀬氏やセクハラ擁護の麻生太郎財務相など「安倍政権の関係者に共通しているのは、悪びれず開き直る姿勢です。こんな政治は私たちの手で辞めさせましょう」。

立憲民主党の武内則男、日本共産党の藤野保史の両衆院議員、参院会派「沖縄の風」の伊波洋一参院議員があいさつ。藤野氏は「加計学園問題の真相究明のためにさらなる喚問が必要です」とのべ、「市民と野党と連携して安倍政権の退陣、改憲阻止に全力あげる」と表明しました。

しんぶん赤旗 2018年5月11日(金)

さあ 3000万人めざそう 9条改憲NO 全国市民アクション声明 24～30日署名“強化週間”

安倍政権による9条改憲に反対する「3000万人署名」を呼びかけている「安倍9条改憲NO!全国市民アクション」(全国市民アクション)は10日、「1350万人を超えた! さらに3000万人をめざそう」と呼びかける声明を発表しました。

同署名の数は、これまでに1350万人を超えています。全国市民アクションは、今国会中に衆参両院に対して、最初の署名提出を予定。提出日までにさらに署名を積み増すため、24日から30日までを「全国いっせい街宣・署名週間」として、取り組みを呼びかけています。

声明では、安倍政権の退陣、改憲反対の世論は広がっている一方で、安倍首相や「自民党改憲本部」は「安倍政権下での改憲発議の方針にしがみついています」と指摘。「彼らに憲法改悪をあきらめさせ、退陣に追い込むためには、私たちは手を緩めず、もうひと押しふた押しの努力が必要です」と語り、それぞれの地域目標と、全体で3000万人の目標を達成しようと訴えています。

しんぶん赤旗 2018年5月11日(金)

1350万人を超えた! さらに3000万人をめざそう 安倍9条改憲NO! 全国市民アクションの声明

「安倍9条改憲NO!全国市民アクション」が10日に発表した声明「1350万人を超えた! さらに3000

万人をめざそう」の全文を紹介します。

「安倍9条改憲NO！ 憲法を生かす全国統一署名」（3000万人署名）は、全国各地での一人ひとりのたゆみない努力の積み上げにより、4月30日現在で署名数が1350万人を超え、5・3憲法集会で報告することができました。この間のみなさんのご努力に心からの敬意を表します。

この5月31日には、3000万人署名は第3次集約となり、今国会での提出期限ぎりぎりの6月12日（火）に、全国市民アクションとして衆参両院に最初の提出をする予定です。また、この提出日までにさらに署名を積み増すため、5月24日から30日までを「全国いっせい街宣・署名週間」として、みなさんに一層の取組みを呼びかけています。

一方、安倍政権はこの間、森友・加計学園問題にみられる権力と国有財産の私物化や公文書の改ざん、度重なる虚偽答弁、自衛隊の「日報」隠しや統幕幹部の野党国会議員への暴言、自民党議員と文科省による教育への介入、裁量労働をめぐる虚偽データ、財務省事務次官のセクハラ事件など、政治と行政の責任や矜持（きょうじ）・道義とはまったく無縁の「ウミ」だらけの姿が明かになりましたが、数を頼りの逃げと居直りに終始してきました。このため、安倍内閣の支持率は軒並み急落し、退陣を求める声が大きく広がっています。

この状況もあいまって、「安倍首相のもとでの9条改憲」は世論の過半数が反対し、「安倍4項目」の改憲案は自民党でも最終案にならず、衆参の憲法審査会でも議論とならず、安倍首相が最短距離としてめざしていた「今国会での改憲発議」は事実上、不可能となりました。実質的に約半年で達成された1350万人超の署名は、大きな成果をあげたと言えるでしょう。

しかし安倍首相と自民党改憲本部の幹部たちは、なおも「今国会でできなくても、年内の早い時期に発議をめざす」と強弁し、安倍政権下での改憲発議の方針にしがみついています。「安倍9条改憲NO！」の運動は、大きく広がってきましたが、まだ勝負はついていないのです。彼らに憲法改悪をあきらめさせ、退陣に追い込むためには、私たちは手を緩めず、もうひと押しふた押しの努力が必要です。

全国のみなさんがこのことを理解され、それぞれの地域の目標と全体での3000万人の目標を達成するため、ともに一層の努力をしていただくよう、お願いいたします。

しんぶん赤旗 2018年5月11日（金）

「あたりまえの政治」を 市民連合が声明発表

「安民法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」は10日、政府が国会を通じて国民に政治責任を果たす、「あたりまえの政治」の実現を求める声明を発表しました。

これまで、虚偽答弁を繰り返し、国会のチェックを免れるために、事実を隠ぺいし、正常な国会審議の前提を壊してきたのは安倍自公政権だと批判。「私たちはひきつづき、政府が国会を通じて国民に対して負う政治責任を果たす、『あたりまえの政治』を求めていきます」と表明しています。

安倍政権が、改憲発議を狙う姿勢を崩さず、「働き方改革」関連法案の強行成立を狙っていると指摘。「市民と立憲野党の共闘の強化、再構築が急務」だとしています。

立憲主義の擁護、安民法制の廃止、9条改悪の阻止、個人の尊厳を擁護する政治の実現という大原則の共有を前提に「市民と立憲野党の共闘をいっそう大きく力強いものにしていく可能性を模索していく」と表明しています。

しんぶん赤旗 2018年5月11日（金）

「あたりまえの政治」を求めて

「安民法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」の声明

「安民法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」が10日に発表した声明「『あたりまえの政治』を求めて」の全文を紹介します。

2018年5月8日より国会が「正常化」したとの報道が相次いでいますが、そもそも国権の最高機関である国会において虚偽答弁を繰り返し、また国会に提出する公文書の改ざんを行い、さらには国会のチェックを免れるためにそうした事実を隠蔽（いんぺい）し、正常な国会審議の前提を壊してきたのは、ほかならぬ安倍自公政権です。今後、本当の意味で国会が正常化するかは、ひとえに政府が国会に対して誠実に説明責任を果たすかにかかります。言うなれば、政府の「正常化」がまだまだ求められています。

森友・加計学園問題や裁量労働制データねつ造問題、自衛隊日報隠蔽問題などで行政が大きく歪（ゆが）められ、法の支配が損なわれたばかりか、財務省セクハラ問題や国会議員への幹部自衛官暴言事件にも垣間見える官僚のモラルのとんでもない劣化は、驕（おご）りたかぶる安倍一強体制、すなわち総理や副総理・財務相はじめ内閣が連帯して責任を負うべきもので、特定の官僚のせいにして済ますことはできません。私たちはひきつづき、政府が国会を通じて国民に対して負う政治責任を果たす「あたりまえの政治」を求めていきます。

しかし安倍政権はいまだに民意不在の改憲発議を狙う姿勢を崩しておらず、さらには、残業代ゼロ・労働時間規制なしの「高度プロフェッショナル」を含む「働き方改革」関連法案を今会期中に強行成立させることを狙っています。支持率が政権発足以来の最低水準に落ち込むなか、安倍首相の自民党総裁三選という極めて利己的な目的のために、またもや解散権を濫用し通常国会閉会後に総選挙を行うの

ではないかとの観測まで一部では流されています。市民と立憲野党の共闘の強化、再構築が急務となっています。

昨年10月の総選挙の直前、民進党が希望の党への合流を決め、それまで構築してきた市民と立憲野党の協力の枠組みを大きく損ねた際も、私たち市民連合は全国各地の市民の皆さんとともに粘り強く立憲野党・議員との共闘を模索し、憲法破壊を企てる逆流を押しとどめました。2018年5月7日ついに希望の党は崩壊し、民進党との再合流によって国民民主党が結成されました。私たち市民連合は、これからも立憲民主党、日本共産党、社会民主党、自由党とさらに意見交換や政策協議を重ねるとともに、立憲主義の擁護、安保法制の廃止、9条改悪の阻止、個人の尊厳を擁護する政治の実現という大原則の共有を前提に、新たに無所属に転じた立憲議員との対話を求め、国民民主党についてもその基本理念を確認し、市民と立憲野党の共闘をいっそう大きく力強いものにしていく可能性を模索します。

防衛相、3佐の訓戒「軽くない」 小西議員への暴言で 共同通信 2018/5/10 18:08

小野寺五典防衛相は10日の衆院安全保障委員会で、小西洋之参院議員に暴言を浴びせた3等空佐を訓戒処分としたことに関し「軽いものとは言えず、適正に行われたと考えている」と述べた。暴言があったのが勤務時間外で、政治的な目的を持っていなかったことなどを理由に挙げた。

小野寺防衛相は、3佐を5月中旬に統合幕僚監部から異動させることや深く反省していることも指摘し、処分内容は適切との認識を強調。2010年、鳩山由紀夫首相（当時）の発言を皮肉った内容のあいさつをした陸上自衛隊の連隊長を訓戒より軽い注意処分にしたケースも踏まえ「今回の発言は重く、処分した」と説明した。

暴言の自衛官 訓戒処分は適切 防衛相が理解求める NHK5月10日 17時15分



現職の幹部自衛官が路上で国会議員に対し暴言を繰り返した問題について、小野寺防衛大臣は国会で「不適切な発言だった」と改めて陳謝したうえで、政治的な目的を持った発言ではなく、訓戒の処分は適切だと説明し理解を求めました。

防衛省の統合幕僚監部の30代の3等空佐は先月、国会近くの路上で、当時、民進党の小西洋之参議院議員に対し、「ばか」「気持ち悪い」「国益を損なう」などと暴言を繰り返

返したとして、訓戒の処分を受けました。

これについて、小野寺防衛大臣は衆議院安全保障委員会で、「幹部自衛官が暴言を含む不適切な発言をしたことは申し訳ない」と改めて陳謝しました。

また、小野寺大臣は野党側から「処分が軽すぎるのではないか」と指摘されたのに対し、「自衛隊法などで規定された政治的な目的を持っていないことを確認しており、本人も深く反省している。処分は決して軽いものとは言えず、適切だ」と説明し、理解を求めました。

一方、小野寺大臣は陸上自衛隊の国際活動教育隊に保管されていた日報について、イラク派遣の日報と同様に、去年2月に国会で「保管していない」と答弁していたことは問題だったとして、見つかった経緯などを調査し、公表する考えを示しました。

立民党やゆした発言は「誤報」 国民・大塚代表、一方で反省も

共同通信 2018/5/10 17:42

国民民主党の大塚耕平共同代表は10日の記者会見で、旧民進党の所属議員が立憲民主党に移ったのを念頭に「ずっと野党でいる気なら、どうぞあちらに行ってください」とやゆした9日の自らの発言を報じた記事に関し「誤報だ」と述べた。「誤解があるような発言はいけないとの反省はしている。野党がばらばらでは政権に近づけないとの趣旨だった」とも釈明した。

立民の枝野幸男代表に10日朝に電話したと明らかにした上で『『こういう報道になったことはおわび申し上げる』』と伝えた。枝野氏から『『気にしていない』』との言葉をいただいた」と語った。

国民・大塚氏「どうぞあちらに」 翌朝、枝野氏に謝罪 朝日新聞デジタル 2018年5月10日 19時41分



国民民主党の大塚耕平共同代表

国民民主党の大塚耕平共同代表が9日の党会合で、「あまり偏った野党では、政権に絶対近づけませんので、ずっと野党でいる気なら、どうぞあちらに行ってくださいという感じだ」と述べた。政権との対決姿勢を明確にする立憲民主党を念頭に置いた発言と誤解されたとして、大塚氏は10日朝、立憲の枝野幸男代表に電話で謝罪した。枝野氏は「気にしていません」と応じたという。

大塚氏が同日の記者会見で明らかにした。

大塚氏は「野党がバラバラでは政権には近づけないとい

う趣旨だ」と釈明した。立憲との溝が深まり、野党連携の障害になるとの懸念に対しては、「(枝野氏とは) 大変仲良くやっている。ゴールデンウィーク中も一緒にご飯を食べたし、大丈夫だ」と否定した。会合は非公開だった。

国民、立憲はいずれも旧民進党系の議員が多く、大塚氏が国民を結党する際、立憲に参画を呼びかけて断られた経緯がある。

政治もバリアフリーに＝骨折の志位氏、車いすで登院



衆院本会議場に車いすで入る共産党の志位和夫委員長＝10日午後、国会内

右足を骨折した共産党の志位和夫委員長は10日、患部にギプスをつけ、車いすで衆院本会議に出席した。記者会見では、見学者用エレベーターを使うなど「回り道」を余儀なくされたとして「国会をもっとバリアフリーにすることが大事だ」と語った。その上で「もっと重要なのは政治的なバリアー。隠蔽(いんぺい)、改ざん、捏造(ねつぞう)。これこそ最優先でフリーにすべきだ」と力説した。

志位氏は6日、自宅近くの公園内を散歩していた際、路面のでこぼこにつまずき、右足くるぶしを骨折。全治1～2カ月と診断された。「当面は用心して車いすで行動する」と説明する一方、野党共闘への影響を問われると「ありません」ときっぱり否定し、足並みをそろえていく意向を強調した。(時事通信 2018/05/10-14:48)

共産・志位氏「骨折して車いす、国会回り道しないと…」 朝日新聞デジタル 2018年5月10日 15時25分



骨折について説明する共産党の志

位和夫委員長＝2018年5月10日午後、国会、及川綾子撮影

志位和夫・共産党委員長(発言録)

5月6日に右足のくるぶしを骨折して全治1、2カ月。立ったり座ったりはできるが、負荷をかけないように用心して車いすで行動しようかと思っている。

国会に車いすで入ろうとすると、回り道をしないとたどり着かない。いつもは渡り廊下に車をつけて、そこから歩いてまずは階段がある。無意識に使っていたこの階段が、車いすでは上れない。見学者用のエレベーターを使うために遠回りをしなければならない。国会も努力をし、完全バリアフリーにしていくのが大事だと身をもって体験している。

足の不自由な方も国会議員になることは大いに歓迎すべきこと。普段は気にしないで我々も動いているが、もっと気にしないといけないと、反省も込めて思っている。

(国会には) 政治的なバリアーある。隠蔽(いんぺい)、改ざん、捏造(ねつぞう)で、我々のところにまともな情報が届かない。とんでもないバリアーで、これこそ最優先でフリーにすべきだ。物理的なバリアフリーと同時並行で、一体的に解決していくことが大事だ。(記者会見で)

産経新聞 2018.5.10 15:31

「隠蔽、捏造、改竄のバリアこそフリーに」 右足骨折の 共産・志位和夫委員長、車いすで登院



右足を骨折、車いすで記者会見に

臨む共産党の志位和夫委員長＝10日午前、国会内(酒巻俊介撮影)

右足を骨折して療養していた共産党の志位和夫委員長が10日、党務に復帰し、車いすで国会に登院した。

志位氏は6日、千葉県船橋市の自宅近くの公園を散歩中、起伏のある道でつまずいて転倒し、右足のくるぶしを骨折する全治1～2カ月のけがを負った。

志位氏は国会内で定例の記者会見に臨み「車いすで国会に入ろうとすると回り道をしなければならない。完全バリアフリーにすることが大事だと身をもって体験している」と語った。

さらに、公文書などをめぐる一連の不祥事を念頭に「も

っと重要なのは政治的なバリアだ。まともな情報が届かない。とんでもない隠蔽、捏造、改竄のバリアこそ最優先でフリーにすべきだ」と力を込めた。

共産 志位委員長が右足骨折「国会内のバリアフリー化を」NHK5月10日 15時21分



今月6日に右足を骨折した共産党の志位委員長は、車いすで10日の定例の記者会見に臨み、国会内のバリアフリー化を推進したいという考えを示しました。

共産党の志位委員長は、車いすで10日の定例の記者会見に臨み、今月6日に自宅近くの公園でウォーキングをしていた際、転倒して右足を骨折したことを明らかにしました。そのうえで、志位氏は「車いすで国会に入ろうとすると、結構、回り道をしないとたどり着かない。『国会も完全バリアフリーにしていけることが大事だ』と身をもって体験しており、ふだんは気にしないが、『もっと気にしないといけない』と反省も込めて思っている」と述べ、国会内のバリアフリー化を推進したいという考えを示しました。

一方、志位氏は「もっと重要なのは、『政治的なバリア』だ。われわれのところまともな情報も届かない隠蔽、改ざん、ねつ造のバリアこそ、最優先でフリーにすべきだ」と述べました。

花角海保次長が出馬へ＝与野党対決の公算－新潟知事選

米山隆一前知事の辞職に伴う新潟県知事選（24日告示、6月10日投開票）に、元副知事で海上保安庁次長の花角英世氏（59）が出馬する意向を固めたことが10日、分かった。関係者が明らかにした。週明けにも辞表を提出し、来週中に出馬表明の記者会見を開く予定。

花角氏には県内の企業経営者ら有志が9日、東京都内で出馬を要請していた。自民、公明両党が支援する見通し。

知事選には旧民進、社民両党系会派に所属する新潟県議の池田千賀子氏（57）が立候補を表明。野党側が支援する意向で、事実上の与野党対決となる公算が大きくなった。池田氏の他に2人が出馬表明している。（時事通信 2018/05/10-21:44）

前川氏、母校東大で講演 「組織では我慢必要」

共同通信 2018/5/10 21:04

前川喜平前文部科学事務次官が10日夜、母校の東大で講演し、自身の学生時代や官僚時代のエピソードを紹介し

「組織の中で仕事するときに我慢はどうしても必要になる」と語った。



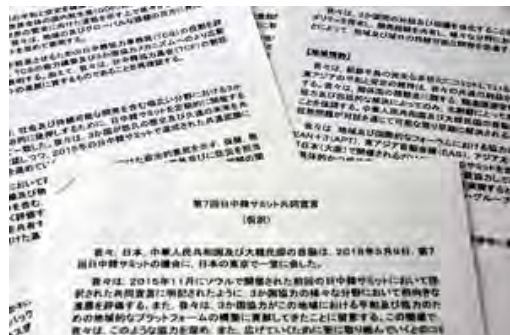
東大で講演する前川喜平前文科事務次官＝10日午後、東京都目黒区

官僚として関わった2006年の教育基本法改正に触れ「個人的には変えたくない気持ちがあったが、職務としてはやらなければならなかった」と語った。「十分な議論をして合意形成し、責任を取るのとは一番立場が上の者」とも話した。

東大時代のエピソードも披露。ラグビー部を1週間で辞めた話や留年し父親に怒られた話を披露すると、会場からは笑い声が上がった。

東大の学生など有志が主催した。

深夜にずれ込んだ日中韓共同宣言 歴史と拉致、日中攻防朝日新聞デジタル鬼原民幸、延与光貞＝北京 2018年5月11日04時10分



9日深夜に発表された日中韓首脳会談の共同宣言。「悠久の歴史」と拉致問題が別項に記載されている

2年半ぶりに開かれた9日の日中韓首脳会談で、3首脳の合意事項をまとめた共同宣言の発表が大幅に遅れ、深夜にずれ込んだ。歴史認識と拉致問題の表記で日本と中国の主張が対立。調整が難航したためだ。

共同宣言は、日本語訳の文書でA4の6ページ分。当初は9日午前11時20分すぎから迎賓館で行った3首脳による共同記者発表に間に合わせる予定だったが、発表は12時間以上遅れ、日付をまたぐ直前の午後11時50分にずれ込んだ。

複数の関係者によると、まず中国は日本の歴史認識にクギを刺す「歴史を直視し」との文言を盛り込むよう求め、日本が拒んだ。これまでの日中韓会談の文書で歴史認識の

文言は、中韓が議長国の時には盛り込まれ、日本が議長国の時には入らなかった経緯がある。日本政府関係者は「未来志向の表現を入れることにこだわった」と話す。

一方、日本は文書に「拉致問題」を明記するよう求め、中国が反発した。過去の首脳会談の共同文書に拉致問題が盛り込まれたことはなく、中国は「拉致問題はあくまで日朝間の問題」（中国外交筋）との立場。これに対し安倍政権は南北会談での言及に続き、米朝会談での提起につなげるためにも今回の共同宣言で明記にこだわったという。

最終的に日本が提示したのは、最初の「3国間協力」の項に「悠久の歴史」という表記を入れることで中国の主張に一定配慮。最後の「地域情勢」の項に中韓首脳が「日本と北朝鮮との間の拉致問題が対話を通じて可能な限り早期に解決されることを希望」とする妥協案を示した。

歴史認識を対日政策のカードに使ってきた中国政府が好んで使う未来志向の表現で前向きな印象を打ち出しつつ、拉致への協力を取り付ける――。日本政府関係者は「歴史と拉致はディール（取引）だった」と振り返った。

この合意が遅れたことも影響したのか、中国各紙は10日付の朝刊で、日中韓首脳会談や中韓首脳会談の記事を載せたが、日中首脳会談だけ記事が載らなかった。国営新華社通信は9日付の記事を10日朝になって配信。新聞には間に合わなかったとみられる。（鬼原民幸、延与光貞＝北京）日中韓首脳会談の共同宣言（骨子）

- ・日中韓首脳会談の定期開催で一致
- ・3カ国が悠久の歴史及び久遠の未来を共有していることを再確認
- ・自由で開かれた貿易及び投資の重要性を認識。あらゆる保護主義との闘い及びビジネス環境改善に引き続き関与
- ・日中韓自由貿易協定（FTA）と東アジア地域包括的経済連携（RCEP）の交渉加速に一層努力
- ・中韓両首脳は、拉致問題が対話を通じて可能な限り早期に解決されることを希望

韓中日共同声明が深夜に出てきた理由…「歴史が問題」

ハンギョレ新聞登録:2018-05-10 20:10 修正:2018-05-11 07:22

中日の歴史認識めぐり対立

「永遠の未来共有」曖昧な表現で妥協

日本は朝鮮半島非核化にも CVID に固執



9日、東京港区赤坂の迎賓館で文在寅大統領と日本の安倍

晋三首相、中国の李克強首相が韓中日首脳会議をしている
＝東京/ロイター聯合ニュース

9日に開かれた韓中日3国首脳会議の共同声明は「歴史認識」と「朝鮮半島非核化」に関する意見の食い違いで、長い陣痛の末に夜遅くなって出てきた。

韓中日首脳会議は、この日午前10時に東京で始まった。会議自体は1時間余り行われ、11時20分頃に終わった。しかし、文在寅(ムン・ジェイン)大統領が午後には帰国するまで共同声明は出てこなかった。

声明が出たのは、この日夜遅くであった。日本の外務省が外信記者たちに電子メールで声明を送ってきたのは深夜12時を過ぎていた。

共同声明の発表が遅れた最大の理由は、中国と日本が歴史認識をめぐる対立したためだ。議長国の日本は、2015年にソウルで開かれた3国首脳会議で採択した共同声明に登場する「歴史を直視し未来に前進する」という一節を今回は変えようと主張した。「歴史を直視」ということは、過去の日本の侵略史を暴く表現だと見るためだった。共同通信は、中国がこれに反対して時間がかかったと伝えた。日本のマスコミはこれについて、李克強首相と安倍晋三首相が直接協議するほどに対立が激しかったと伝えた。結局、関係回復を願う中国が譲歩した。共同声明には「私たちは三国が悠久な歴史と永遠の未来を共有する点を再確認した」という表現が入った。

第二の理由は、朝鮮半島非核化に関する表現だった。朝日新聞は、日本が共同声明に「完全かつ検証可能で不可逆的な北朝鮮核廃棄(CVID)」という表現を入れようとしたと報道した。しかし、韓国と中国が反対した。今度は日本が譲歩した。結局、宣言文には4・27「板門店(パンムンジョム)宣言」に記された「完全な非核化」が入れられた。東京/チョ・ギウオン特派員（お問い合わせ japan@hani.co.kr）

米国人解放「北の前向き姿勢歓迎」 日米電話協議で首相 東京新聞 2018年5月10日 夕刊

安倍晋三首相は十日午前、トランプ米大統領と電話で協議し、ポンペオ米務長官の訪朝や九日の日中韓首脳会談を踏まえ、北朝鮮情勢を巡り意見交換した。首相は北朝鮮に拘束されていた米国人三人が解放されたことについて「大きな成果だ。北朝鮮の前向きな姿勢であり歓迎したい」と伝えた。トランプ氏からは、ポンペオ氏と北朝鮮側のやりとりに関し説明を受けた。首相が官邸で記者団に明らかにした。

首相はトランプ氏に対し、日中韓首脳会談など一連の会合で、四月の南北首脳会談や、米朝首脳会談に向けた対応など議論した内容を説明。日本政府によると、トランプ氏は「北朝鮮問題で日本の果たす役割の重要性を十分認識しており、引き続き緊密に連携していきたい。日本はビッグ

プレーヤーだ」と話した。

両首脳は、日米で協力して北朝鮮による日本人拉致問題の解決を目指すことでも一致。首相は記者団に「まだ多くの方が北朝鮮に取り残されたままだ。問題解決のために、日米や日米韓（で協力し）、また中国の協力も得て全力を尽くしたい」と語った。

北朝鮮の非核化や拉致解決に向け連携確認 日米首脳が電話会談

NHK5月10日 13時32分



アメリカのポンペイオ国務長官と北朝鮮のキム・ジョンウン（金正恩）朝鮮労働党委員長が、9日に会談したことを受け、安倍総理大臣はトランプ大統領と電話で会談し、史上初の米朝首脳会談に向けた調整状況について説明を受けました。そして両首脳は、北朝鮮の完全なる非核化や、拉致問題の解決に向けて緊密に連携していくことを確認しました。

史上初の米朝首脳会談を前に、関係国の動きが活発になる中、アメリカ側からの申し出を受け、安倍総理大臣は10日午前10時ごろから、およそ20分間、総理大臣官邸でトランプ大統領と電話で会談しました。

この中でトランプ大統領は、9日に行われたポンペイオ国務長官と北朝鮮のキム・ジョンウン朝鮮労働党委員長の会談の内容など、米朝首脳会談に向けた調整状況を説明したうえで、「日本の果たす役割を十分に認識しており、引き続き緊密に連携していきたい。日本は重要なプレーヤーだ」と述べました。

これに対し安倍総理大臣は、北朝鮮に拘束されていたアメリカ人3人が解放されたことは大きな成果だとして祝意を伝えたうえで、9日に行った日中韓3か国の首脳会議や中国や韓国との個別の首脳会談の概要を説明しました。

そして両首脳は、生物・化学兵器を含む、すべての大量破壊兵器や、あらゆる射程の弾道ミサイルの完全かつ検証可能で不可逆的な方法での廃棄と、拉致問題の解決に向けて、北朝鮮に具体的な行動をとるよう求めていくことを改めて確認しました。

会談のあと安倍総理大臣は記者団に対し、「3人の拘束されていたアメリカ人が解放されたが、拉致問題は残念ながら、まだ多くの方が北朝鮮に取り残されている。拉致問題の解決のために日米、日米韓、あるいは中国の協力も得て全力を尽くしていきたい」と述べました。

安倍総理大臣とトランプ大統領は、先月28日にも電話で会談していて、電話会談は今回で22回目です。

「セクハラ罪ない」発言は不適切 野田総務相が批判

朝日新聞デジタル 2018年5月11日 01時22分

財務省の福田淳一・前事務次官のセクハラ問題をめぐって、麻生太郎財務相が「セクハラ罪っていう罪はない」と発言したことについて、野田聖子総務相兼男女共同参画担当相が10日の衆院総務委員会で、「適切な表現ではない」と述べた。共産党の本村伸子氏の質問に答えた。

野田氏は「いじめ問題」を例に挙げ、「『いじめ罪』がないっていう議論はない」と指摘。そのうえで、「そういうことを学習してきた人からすると、決して適切な表現ではないということは明らか」と麻生氏の発言を批判した。

麻生氏は4日に訪問先のフィリピンで記者会見し、セクハラ問題について「セクハラ罪っていう罪はない」「殺人とか強（制）わい（せつ）とは違う」などと発言。各地で抗議行動が起き、批判されたが、8日の閣議後記者会見でも「事実を申し上げている」と反論した。

伊吹氏「セクハラ罪はないが、法律以前の倫理観を」

朝日新聞デジタル 2018年5月10日 14時28分



伊吹文明氏

伊吹文明・元衆院議長（発言録）

（財務相の）麻生（太郎）さんの「セクハラ罪という法律はない」と。これは全く正しいんですよ。刑法やその他の法律のどこを探しても、セクハラ罪という法律はありません。セクハラは受ける立場によって違う。いとしい人から抱きしめていいかと言われたら跳び上がって喜ぶけれども、嫌なやつから言われたら本当に嫌だなあと。こういう心の問題を、何か法律に書いてその心の問題の判断を、警察官や検察官、裁判官に委ねることはやっちゃいけない。人が嫌がることはやらないという法律以前の倫理観みたいなものを皆がしっかり持たないといけませんね。そこをちょっと麻生さんが言い漏らしたのだから、袋だたきにあっておられる。（派閥例会のあいさつで）

「子供産まねば人様の税金で老人ホーム」自民・加藤寛氏

朝日新聞デジタル 寺本大蔵 2018年5月10日 19時49分



加藤寛治氏

自民党の加藤寛治衆院議員（長崎2区、当選3回）が10日、所属する同党細田派の会合で、「結婚しなければ子供が生まれず。人様の子どもを税金で（運営される）老人ホームに行くことになる」と若い女性たちに話している、と明かした。

加藤氏はこの発言を自身が招かれる結婚披露宴での会話として紹介。さらに、「必ず新郎新婦に3人以上の子供を産み育てていただきたいと願う。いくら努力しても子どもに恵まれない方々があり、そういう方々のために3人以上が必要だ」と話しているとも説明した。

加藤氏は会合直後、記者団から発言の訂正・撤回の意思について問われ、「少子化対策は一番の、我が国にとっては大事な問題。ただ、それだけです」と述べた。しかし、「騒ぎになる前に撤回、謝罪させるべきだ」（党幹部）との声も上がり、同日夕、「誤解を与えた事に対し、おわびします。決して女性を蔑視している訳ではありませんが、その様にとられてしまう様な発言でありましたので撤回します」とのコメントを出した。

加藤氏は長崎県議会議長などを経て、2012年に初当選した。同派では今年4月以降、下村博文、長尾敬両衆院議員が講演やツイッター上で不適切な発言をし、派閥会長の細田博之衆院議員が注意喚起をしている。（寺本大蔵）

また「ない」→「あった」 南スーダンPKO動画を開示
朝日新聞デジタル古城博隆 2018年5月10日 20時57分



防衛

省が開示した動画。「一斉検索」と字幕が入っている（布施祐仁氏提供）

南スーダン国連平和維持活動（PKO）をめぐる、防衛省が昨年9月に「存在しない」として情報公開請求に対し不開示としていた動画について、今年2月になって存在を

認めていたことが分かった。10日、防衛省などへの取材で判明した。同省は「探索の仕方が不十分だった」としている。

対象となったのは、2016年7月に南スーダンの首都ジュバで戦闘が起きた時期に、陸上自衛隊の部隊が撮影した動画。一連の「日報」問題を追及してきたジャーナリストの布施祐仁氏が16年12月に情報公開請求していた。

防衛省は17年9月、「映像」の一種として、複数枚の写真を開示したが、動画は残っていないとして不開示とした。布施氏は不服審査請求し、撮影状況などを詳しく指定して動画を再請求していた。

これに対し防衛省は約5カ月後の今年2月、「追加で開示する」と布施氏に連絡。3秒間の動画を先行開示し、残りは12月までに開示すると伝えたという。この時期は日報の問題を受けて始まった陸自全部隊での日報を探す作業がいったん終わった時期だった。

開示された3秒の動画には「一斉検索」と字幕がつけられ、戦闘後の16年7月14日に隊員らが宿営地の状況を調べに入る前とみられる様子が撮影されていた。

布施氏は当初不存在とされたことについて、「PKOを検証する上で極めて貴重な資料。政府が派遣先は危険ではないと言っている以上、生々しい情報は出しにくいと判断したのではないかと話す。防衛省は「探索したが、見つけれなかった。写真の開示作業に時間がかかった面もある」としている。

情報公開法は、行政機関の職員が職務で作成・取得し、組織的に用いるものとして保有する文書、図画、電磁的記録を、公開の対象となる「行政文書」としている。電磁的に記録された動画や音声も対象に含まれる。（古城博隆）

自衛隊 イラク日報問題 情報公開を巡り自民党内に異論
安全確保に影響を懸念 中谷元防衛相に聞く
毎日新聞 2018年5月11日 東京朝刊



＝青島頭撮影

自民党安保調査会長の中谷元・元防衛相に聞いた。

――イラク派遣部隊の日報が見つかった。

◆日報は司令官が夜を徹して部下から聞いて作り、（日々の）活動の判断材料になる。保管されているのは当然で、

どこかにあると思っていた。

――南スーダン派遣部隊の日報の廃棄・隠蔽(いんぺい)問題を受け、防衛省は日報の保存期間を10年に改めた。妥当か。

◆あるべき姿になった。保存期間が10年でその後に国立公文書館に移管する運用でよい。ただ、対処要領、警備状況なども書かれており、開示すると部隊の活動、要員の安全確保に影響が出る。安全管理上不開示にすることも大事だ。米国ではオペレーション(作戦)にかかわる情報の扱いは厳格で、10～20年後に公文書館で公開している。(日報は)秘密を保全すべき性質からして、一般の公文書と同じ扱いでよいのだろうかと思う。

――イラク日報について、党内で「特定秘密にしてもよい文書」「すぐ開示されるのはおかしい」という意見があったという。

◆そういう意見があったとは思ふ。公文書と同じ扱いをされて公開されると、ありのままが情報として上がらなくなる。オペレーションにかかわる文書の取り扱いをどうするかは検討が必要だ。漏れては困る。

――開示されたイラク日報は安全保障に支障のあるおそれがあるとして一部黒塗りにされている。開示された範囲で部隊の安全に支障がある部分があるのか。

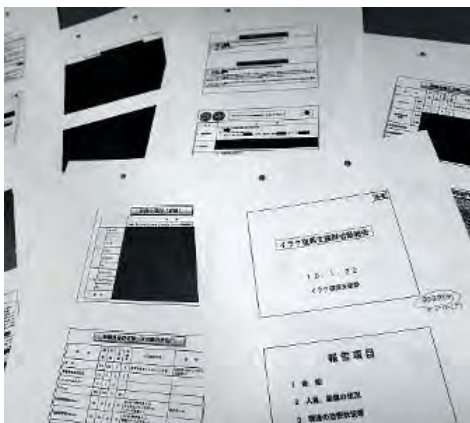
◆厳密に内容を点検して公開したので、現時点で困ることは発生していない。ただ開示請求に応じるのは大変な作業だ。

――日報は秘密指定すべきか。秘密にすれば防衛省・自衛隊内で情報共有が難しくなるのではないか。

◆許可を持った人しか扱えなくなり、(情報管理・共有は)簡単にはいかない。検討事項にはなる。

自衛隊 イラク日報問題 情報公開を巡り自民党内に異論

毎日新聞 2018年5月11日 東京朝刊



公開された2006年1月22日の陸上自衛隊の「イラク復興支援群活動報告」。黒塗りにされた部分もある＝竹内紀臣撮影

陸上自衛隊のイラク派遣部隊の日報を防衛省が公開した

ことについて、自民党の国会議員を中心に「公開すべきではなかった」との意見が出ている。しかし防衛省は「国の安全が害されるおそれがある」と判断した部分は黒塗りにしており、安全保障情報の専門家は「非公開を求める意見は、公文書が国民共有の資源であるという認識を欠いている」と指摘する。【青島頭】

「存在しない」一転、先月公表

イラク復興支援特別措置法に基づいて2004年1月～06年9月に派遣された部隊の日報は昨年2月、防衛省が野党議員の資料要求に対して「存在しない」と説明。稲田朋美防衛相(当時)も国会で同様に答弁した。ところが防衛省は今年4月、陸自研究本部(現教育訓練研究本部)の外付けハードディスクなどから日報が発見されたと公表し、他国軍から得た情報などを黒塗りにした上で開示した。同月末までに公表されたのは派遣期間の約半分の469日(陸自分)。現地の治安状況について「戦闘が拡大」「銃撃戦」といった表現があり、宿营地周辺で攻撃があったことの詳細が明らかになった。

公表された日報を見ると、06年1月22日には、英軍の行動に反応した現地の民兵が射撃を始めたことで「戦闘が拡大」し、タクシー運転手が「英軍に誤射され死亡した模様」▽同年7月13日には、「(自衛隊の)宿营地に対する(目標が直接見えない状況で砲撃する)間接射撃事案が発生」し、「宿营地の南西約4キロに着弾したと推定される。ロケット弾のようなものは約8・8キロ飛行と推定」――などと記載されている。固有名詞や地名、関係者の判断などの記述が一部黒塗りにされている。

これに対して、公開直後の4月17日の自民党国防部会・安全保障調査会合同会議では、出席議員から「(日報は)特定秘密に指定してもよい種類の情報では」といった趣旨の意見が出たという。安保調査会長の中谷元・元防衛相は取材に対し「一般の公文書とは性格が違う。同じ扱いにしてよいのかと思う」と述べた。

情報公開法などによると、国の役所で職務上作成され、組織的に用いるものは公文書となり、情報公開請求の対象になる。一方で同法は「公にすることにより、国の安全が害されるおそれ、他国・国際機関との信頼関係が損なわれるおそれがある」とする相当の理由があれば保有する省庁の判断で不開示にしたり、一部を黒塗りにしたりできると定めている。

一方、特定秘密保護法は、国の安全に関する情報のうち、漏えいすると安全保障に著しい支障を与えるおそれのあるものを特定秘密に指定し、漏らした場合に最長10年の懲役を科すとしている。特定秘密は範囲が不必要に広がらないように表で示され、防衛に関する特定秘密は「自衛隊の運用・研究」など10種類に限定されている。

自衛隊 イラク日報問題 情報公開を巡り自民党内に異論

専門家、開示支障ない 春名幹男・元早稲田大客員教授の話

毎日新聞 2018年5月11日 東京朝刊

公文書は国民の知的資源 国際ジャーナリストでインテリジェンス（諜報（ちょうほう）活動）に詳しい春名幹男・元早稲田大客員教授の話

日報が公文書の定義を満たしているのは明らかだ。公文書管理法は公文書について「健全な民主主義の根幹を支える国民共有の知的資源」としている。開示を批判する人はこうした認識を欠いている。むしろ防衛省・自衛隊が、重要な教訓になるイラク派遣部隊の日報を残しているかどうかははっきりしないという、ずさんで恥ずかしい文書管理をしていたことが問題だ。

自衛隊の部隊がイラクでどれだけ危険にさらされたのかを記録する意味は大きい。「開示すれば自衛隊員を危険にさらす」との声も出ているようだが、イラク情勢は当時とは異なっている。どうしても公開して困る部分だけは非公開にすべきで、現にそのような運用をしている。

米国でも同様の文書は基本的に公開されており、元兵士や戦争で身内を亡くした遺族が国立公文書館を訪れ、閲覧している。「公開・非公開を判別する現場の負担が重い」との意見もあるようだが、日本はもっと公文書管理に人と金をかけるべきだ。

陸自 イラク日報問題、報告遅れも調査

毎日新聞 2018年5月11日 東京朝刊

小野寺五典防衛相は10日の衆院安全保障委員会で、昨年は「不存在」とされた陸上自衛隊のイラク派遣時の日報を統合幕僚監部が確認した後、小野寺氏に報告されるまで約1カ月を要した経緯を調査する考えを示した。

「首相にも道義的責任」 今井秘書官、異例の取材受ける朝日新聞デジタル 2018年5月10日 20時40分

「安倍政権として正直に説明していくほかない」。今井尚哉首相秘書官が10日発売の月刊誌「文芸春秋」で、現役首相秘書官として異例のインタビューに応じ、森友・加計（かけ）学園問題などについて語った。今井氏は森友問題に絡み、野党が証人喚問を求めている対象の一人だ。

同誌で、今井氏は財務省による森友学園の決裁文書改ざんについて、「あってはならない。財務省本省と近畿財務局にはしっかりと説明してほしい」と述べる一方、「国会で話題になるまで（問題を）知らなかった」と自身の関与は否定した。

安倍晋三首相の妻昭恵氏が、森友学園が開設をめざした小学校の名誉校長だったことについては、「うかつにも引き受けたのは間違いだった。首相にも間違いなく道義的責任がある」と語った。

2016年の伊勢志摩サミットに向けた勉強会で配られ、

消費増税先送りの流れを作ったとされる「新興国の投資伸び率は、リーマン・ショック時より悪化」との内容のペーパーについては「作成を僕が主導したのは間違いなし」と認めた。

「首相に報告せず」なぜ記憶鮮明なのか 高木光太郎さん 朝日新聞デジタル聞き手・岸善樹 2018年5月10日 21時54分



高木光太郎さん

高木光太郎さん（青山学院大教授）

記憶は、もろいものです。写真やビデオとは仕組みも役割もちがう。周囲のさまざまなものの影響で変化します。

柳瀬唯夫氏は、官邸での加計学園の関係者との面会は認めたとうえで、愛媛県や今治市職員が同席したかについては「いまでもわからない」と説明しました。記憶の一般的な特性を踏まえれば、それほど不自然には聞かえません。3年前のことで、現在は別の役職にいる。記憶があいまいでも、不思議はありません。

印象的だったのは、加計学園の件について、柳瀬さんが「総理に報告したことも、指示を受けたことも一切ない」と言い切ったことです。

面会そのものは、同席者の記憶があいまいで、特区制度の趣旨についても「そういうことを申し上げたのかなというところでございます」といい、細かく覚えていないようでした。その程度の重要性だったと聞かえます。面会がさほど重要でないなら、首相に伝えたかどうか、記憶があいまいな方が自然です。

もし本当に報告していないなら、二つの場合が考えられます。一つは日常的に報告していないケースですが、これは考えにくい。もう一つは、伝えてはいけないことだと明確に意識していたから、報告しなかった。この場合、面会についても特別な重みがあったはずで、より鮮明な記憶が残った可能性が高い。

あるいは、本当は報告したのだけれど、あえて自らが泥をかぶって、事態を終わらせようと考えたかもしれません。真相はわかりませんが、あいまいな記憶と、きっぱり言い切る説明のギャップに、何か隠されているのかもしれませんが。

事件の事情聴取でも裁判の尋問でも、事実を知りたい場合は、相手に自由に話してもらうことが基本です。しっか

り話を聞いたうえで、出来事の大きな流れだけでなく、言葉遣いの変化なども、説明が実体験に基づくのかどうか判断する手がかりになります。

例えば、相手の行動を事細かに説明していた人が、ある出来事になると自分のことばかり話しますなど、唐突に説明パターンが切り替わる。事実から嘘（うそ）の世界に変わる時、こうした細かい変化が生じることがあるので、心理鑑定などでは特に注目します。

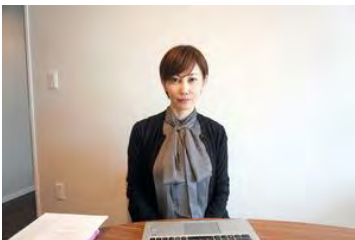
国会の場合、時間の制約もあるのですが、証人や参考人の説明を聞くより、言質をとることが目的のようにも見えます。逃げるような様子をさらすことで、怪しい感じを見せつけるとか。

参考人招致でも証人喚問でも、事前に詳細な陳述書を出してもらうのが次善の策かもしれません。いつながり端緒で、誰とどこで会って、どんなやりとりをしたのか。覚えている限り書き出してもらう。本人が書くことが大前提ですが。（聞き手・岸善樹）



高木光太郎 65年生まれ。専門は法心理学。足利事件や大崎事件の供述心理鑑定に携わる。著書に「証言の心理学」など。

言い逃れの「記憶にない」は尋問技術必要 亀石倫子さん
朝日新聞デジタル聞き手・山口栄二 2018年5月10日 21時23分



亀石倫子さん

柳瀬唯夫氏が、10日の国会招致で、加計学園関係者との首相官邸での面会を認めた。

亀石倫子さん（弁護士）

柳瀬氏の話聞いて感じたのは、官邸での面会に関する様々な文書が出てきて、認めざるを得ない部分は認めつつ、それ以外の点については「記憶にない」と逃げ、安倍首相からの指示や首相への報告といった点については強く否定する、という方針に基づいて、周到に調整された答弁だということです。

弁護士になって9年間で、二百数十件の刑事事件の弁護を担当、否認事件のうち3件で無罪判決を勝ち取りました。経験から学んだのは、「記憶にない」と答える人には、本当に記憶がない人もいますが、言い逃れの場合もあるということです。

本当に記憶がない人には、記憶の喚起のため関連する書面や証拠物などを示すと多くは思い出します。しかし、言

い逃れ目的の人の場合、若干尋問の技術が必要です。

例えば、答えられないはずがない周辺の事実を一つずつ質問して答えさせて、それらは記憶しているのに、核心部分の事実だけ記憶していないことの不自然さを浮かび上がらせるという方法です。

今回、柳瀬氏は、面会の際の相手方は「10人近く」とか、元東大教授が座った位置などを詳細に答える一方、愛媛県や今治市の職員がいたかどうかは「わからない」という答えでした。また、「首相案件」という発言の有無については、事前に用意したメモを必ず読み上げていました。不自然で、尋問しがいがある、と感じました。

また、嘘をつく人は、防御ライ...

立憲・長妻氏「283事業者で柳瀬氏会ったの加計だけ」
朝日新聞デジタル 2018年5月10日 21時04分



立憲民主党の長妻昭政調会長

長

長妻昭・立憲民主党政調会長（発言録）

（国家戦略特区をめぐって）仕組みの議論はあるものの一般論として、おかしい規制に穴を開けるのは正しいと思うが、穴を通れるのは安倍総理のお友だちだけ。その穴は一つだけで閉まってしまい、既得権益グループにお友達も仲間入りをした。（加計学園には）私学助成も今後出るわけで、国民の税金だ。

国家戦略特区は安倍内閣で始まったが、認定事業数が283と、相当の事業者がいる。その中でも、柳瀬唯夫・元首相秘書官が会ったのはたった一つ、加計学園だけ。「アポがあれば誰でも会うんだ」とおっしゃっていますが、これだけ多くの事業認定数にもかかわらず、加計学園だけに3回も首相官邸で会う。徹底的に真相究明していくことが必要だ。（党会合のあいさつで）

官邸での面会「異例中の異例」 江田氏が柳瀬氏に指摘
朝日新聞デジタル 2018年5月10日 20時40分



参院予算委での参考人招致を終え国会を後にする柳瀬唯夫・元首相秘書官（左）＝2018年5月10日午後3時26分、国会内、関田航撮影

「異例中の異例」——。10日の衆院予算委員会で、首相秘書官の経験がある江田憲司議員（無所属の会）は、柳瀬唯夫・元首相秘書官が加計学園の関係者と首相官邸で面会したことについて、そう表現した。秘書官が、事業者など外部の人と官邸で面会するのはどんなケースなのか。

江田氏は「総理（首相）秘書官は総理大臣と一心同体。許認可や補助金の対象事業者と会うと、それは総理に累が及び、疑念を招く」と指摘。通常、陳情や要望に来る事業者や自治体関係者は「内閣府や役所の担当部署に来て、必要があれば首相秘書官に担当部署から報告がある」と説明した。

一方、細川護熙首相の秘書官を務めた成田憲彦・駿河台大学名誉教授は朝日新聞の取材に、「首相と個人的なつながりがある人や、首相が関心を持っている人と会うことは、特殊なケースとしてある」と話した。

加計学園の獣医学部新設計画をめぐる、愛媛県職員が作成した文書には、柳瀬氏が「首相案件」と伝えたとの記述がある。この点について成田氏は「霞が関では総理が関心を持っているものを『総理案件』と呼ぶので、メモしたのだろう」とみる。内閣副官房長官を経験した男性は「総理の代理人として動く首相秘書官が会えば、それは『総理案件』になる」と話した。

事業者との面会について、安倍政権下の官邸はどうか。現役複数の官邸関係者によると、首相秘書官の担当によって加計学園のような事業者と面会するケースがあったり、会わない場合があったりするようだが、官邸幹部は事業者との面会について「慎重にやるのが普通だ」と指摘する。

国民・榛葉氏「総理秘書官、そんなに簡単に会えるのか」

朝日新聞デジタル 2018年5月10日 19時58分

榛葉賀津也・国民民主党参院幹事長（発言録）

この参議院から歩いて5分ほどの所に総理官邸がある。

（地下鉄）丸ノ内線の国会議事堂前駅を降りれば歩いて30秒の所にあるけど、我々国会議員にとって、特に野党議員にとって、距離は近いけど非常に遠いのが官邸なんです。

（柳瀬唯夫・元首相秘書官が加計学園関係者との官邸での面会を認めたことをめぐり）民間人がそう簡単に入れる所なのか。5カ月間に3回も総理秘書官って会ってくれるのか。総理秘書官って、そんなに簡単に会える方なのか。私がこれから会いたいと言ったら会ってくれるか、ぜひ聞いてみたい。

私も防衛副大臣、外務副大臣をやって役所にお客さんが来たけど、副大臣クラスの私ですら面会者がある場合は、役所のスタッフから「どういふ方々がお越しになられます」というメモが必ず入る。首相に最も近い秘書官が3回も加計学園（関係者）に会って、そこに今治市や愛媛県（関係者）がいたかどうか記憶が定かでないってことは、よほど

能力がない秘書官か、よほど物忘れが激しいか、ウソをついているか、どれかでしょうね。（記者会見で）

石破氏「総理に秘書官が報告しないこと、考えられない」

朝日新聞デジタル 2018年5月10日 15時39分



石破派の会合であいさつする

自民党の石破茂元幹事長＝10日午後、東京都千代田区、岩尾真宏撮影

石破茂・自民党元幹事長（発言録）

（衆院予算委員会での柳瀬唯夫・元首相秘書官の参考人招致について）加計学園だけが特別扱いされたのでは、との疑問が完全に払拭（ふっしょく）されたかということ、そういう思いはしない。疑念を完全に払拭するとの（安倍晋三）総理の指示は、完全には達せられなかったんじゃないか。

非常に違和感を持ったのは、希望があれば誰でも会うと言われたが、総理秘書官が誰にでも会ってくれる話だと思わなかった。結果として、会ったのは加計さんだけ。誰にでも会うと強調していたので、すごく違和感を持った。なぜ加計さんだけだったのか。石破4条件を随分強調していたが、閣議決定だから安倍内閣の決定であり、その点もかなり違和感を持った。

総理に秘書官が報告しないことは普通考えられない。秘書官は個人でなく、（総理の）分身として会っていて、誰に会ったか報告するのが普通だ。全く報告していないことにも違和感を持ったし、政府の中で働いたことがある人たちはそう思ったのではないか。

愛媛県と柳瀬さんの言い分が違っているのが今の状況で、その場でメモをとられた愛媛県の関係の方々も（国会に）お呼びするべきなのかもしれない。（予算委員会終了後、記者団に）

愛媛知事「真実でないことも」＝柳瀬氏答弁に不満

愛媛県の中村時広知事は10日、学校法人「加計学園」獣医学部の同県今治市への設置をめぐって国会に参考人招致された柳瀬唯夫元首相秘書官の答弁に関し、「愛媛県の信頼を損ねるような発言があったのは非常に残念だ」と述べた。県庁で記者団の取材に応じた。

中村知事は、県職員が作成した文書に関する柳瀬氏の答弁に「真実ではないレベルもいくつかあった」と指摘。「誠心誠意全ての真実を語らないというのが印象だ」とも語った。知事は、柳瀬氏のどの発言に誤りがあるかの言及は避け、11日の定例会見で詳細を説明する考えを示した。

一方、今治市の菅良二市長も市役所で取材に応じ、市職員が2015年4月2日に柳瀬氏と面会したことを認めた。柳瀬氏の答弁については「コメントするところではない」と語った。(時事通信 2018/05/10-20:13)

愛媛県知事、柳瀬氏答弁を批判 「真実語ってない」 不快感あらわ

共同通信 2018/5/10 20:59



記者団の取材に応じる愛媛県の中村時広知事＝10日午後、愛媛県庁

学校法人「加計学園」の獣医学部新設を巡る衆参両院の参考人質疑で、愛媛県文書に記載された「首相案件」発言を否定するなどした柳瀬唯夫元首相秘書官に対し、中村時広県知事は10日、「県の信頼を損ねる発言があり非常に残念。誠心誠意、全ての真実を語っていない。真実ではないレベル（の答弁）もいくつかあった」と不快感をあらわにして批判した。

県庁で記者団の取材に応じた中村知事は、県文書は「改ざんの余地がない」と強調し、「職員が『首相案件』とメモするということは（柳瀬氏が）間違いなく言ったと思う」と主張。自身が参考人招致を求められた場合は応じる姿勢を改めて示した。

愛媛知事「どうして正直に言わないのか」 柳瀬氏発言に朝日新聞デジタル 2018年5月11日 00時27分

柳瀬唯夫・元首相秘書官の参考人招致での発言をめぐり、愛媛県の中村時広知事は10日夕、報道陣の取材に応じ、「どうして全て正直に言われないのかわからない」と憤った。

中村知事は柳瀬氏の発言について、「県の信頼を損ねるような発言があったのは非常に残念」と反発。その上で柳瀬氏が「首相案件」と語ったとする愛媛県の文書の記述について、「伝えたかった趣旨とは違う」などと反論したことを問題視し、「担当（職員）は一言一句漏らさずに報告したいという気持ちがあり、ありのままに書いたと言っている」と述べた。

また柳瀬氏は加計学園の関係者との面会は認める一方、愛媛県と今治市の職員については、「今でもわからない」「い

たのかもしれない」と述べるにとどまった。中村知事はこれにも言及。「（職員は）案件を突破、実現するために、それなりの思いを持って、発言しにいった」と主張した。

さらに柳瀬氏の答弁の事実関係や感想について職員に報告を求めたことを明らかにした。11日の定例会見で発表するという。

また今治市の菅（かん）良二市長もこの日、職員が柳瀬氏と面会していたことを初めて明らかにした。

岡山・加計学園 獣医学部新設問題 柳瀬氏招致 「真実でない」 愛媛知事

毎日新聞 2018年5月11日 東京朝刊

愛媛県の中村時広知事は報道陣の取材に応じ、柳瀬氏が参考人招致で「首相案件」と言っていないとした点について「当時の担当職員は一生懸命一言一句漏らさず報告したいという気持ちがあるからありのままに（文書に）書いた。職員が（首相案件と）メモするということは間違いなく（柳瀬氏が）言われたと思う」と反論。「時折、愛媛県の信頼を損ねるような発言があったのは非常に残念。真実でないレベル（の発言）もいくつかあった」と不快感をあらわにした。11日午前の定例記者会見で改めて詳細な見解を示すという。

一方、今治市の菅良二市長も取材に応じた。15年に市職員が柳瀬氏と面会したことに関連し、「柳瀬さんがその（面会の）前にお会いしていたのは、加計学園の関係者だということで、4月2日の設定がなされたのかと（思う）」とコメント。面会が加計学園の主導だったことを示唆した。

【花澤葵、松倉展人】

愛媛県困惑 首相案件否定「言い逃れ」 柳瀬氏参考人招致

東京新聞 2018年5月10日 夕刊

学校法人「加計学園」の獣医学部新設を巡り、柳瀬元首相秘書官が十日の国会での参考人招致で、学園関係者との面会を認める一方、愛媛県作成の文書に記載された「首相案件」という発言をしたとされる点を否定したことに、県幹部は「ずるい言い方。言い逃れの感じがある」と不満を口にしました。

新設計画に携わってきた県地域政策課の担当者も「県は正直に報告している。柳瀬氏も正直に話してほしい」と注文。「質問の内容によって答弁のニュアンスを変えている気がする」と困惑した様子も見せた。

衆院予算委が始まった午前九時すぎ、同課では職員数人が通常業務に当たり、時折、柳瀬氏の答弁を中継するテレビ画面に顔を向けていた。中村時広県知事は松山市内で公務に当たった。

同県今治市役所では、菅良二市長が同日午後取材に応じる予定。市職員の一人は「今はコメントできない」と言

葉少なに業務を続けた。市民団体「今治市民ネットワーク」の村上治共同代表は、柳瀬氏の答弁を「具体的な話を避けていて、実態が見えない」と批判。安倍首相と一緒にいる際に学園関係者と会ったと説明したことに「その時から『加計ありき』の全てが始まったのではないか」と話した。

愛媛県知事 柳瀬氏発言を批判「県職員の書いたこと間違いない」

NHK5月10日 19時52分

加計学園の獣医学部新設をめぐる、国会では、柳瀬唯夫元総理大臣秘書官らを参考人招致して、質疑が行われました。愛媛県の中村知事は、10日夕方、愛媛県庁で記者団の取材に応じ、「愛媛県の信頼を損ねるような発言があったのは非常に残念だ。誠心誠意にすべての真実を語らないという印象だ」と述べ柳瀬氏の発言を批判しました。

また、中村知事は柳瀬氏の愛媛県の文書についての発言を取り上げて、「どうしてすべて正直に言われぬか分からないが、県職員など人間には誇りやプライドがある。そういうものに、なぜ思いをはせられないのか。愛媛県の文書は改ざんする余地がない。県の職員はありのまま書いたと思っている。『首相案件』発言について、細かく分析できていないが、私は県職員の書いたことは間違いないと思う」と述べました。

岡山・加計学園 獣医学部新設問題 「京産大、官邸に呼ばれず」 加計と競合、元教授証言

毎日新聞 2018年5月11日 東京朝刊



大槻公一元教授

国家戦略特区を活用した獣医学部新設を巡って、加計(かけ)学園(岡山市)と競合した京都産業大(京都市)で設置準備を担った大槻公一元教授(76)＝今年3月末に退職＝が毎日新聞のインタビューに応じた。加計学園関係者は2015年4月2日に柳瀬唯夫元首相秘書官(現経済産業審議官)と面会していたとされるが、大槻氏は「京産大は首相官邸に呼ばれたことはない。公平ではない」などと振り返った。【菅沼舞】

大槻氏によると、京産大が獣医学部新設を提案する2カ月前の16年1月、内閣府の藤原豊・地方創生推進室次長(当時)と面会した際、「今ごろ持ってきて(遅い)。今治はもっと頑張っている」との趣旨のことを言われたという。今治市と愛媛県は07～14年、構造改革特区での獣医学部新設を計15回申請して却下され、15年6月に国家戦

略特区での新設を申請していた。

京産大も16年3月に獣医学部新設計画を国家戦略特区の会議で提案した。だが、特区諮問会議は同11月、新設を「広域的に獣医学部が存在しない地域に限り」と条件を設定。関西圏に獣医師養成課程を持つ他大学が存在するため、京産大は除かれる形となった。内閣府と文部科学省が18年度開設の1校に限り認めるとしたため、京産大は「間に合わない」と応募を断念した。

大槻氏は「(二つの条件は)寝耳に水だった。どうしてこんな条件が出てきたのか分からない。後々に『首相案件』だったと聞いて符合する部分があった」と振り返る。

だが、17年1月に事業者として認定された加計学園は今春から学生を受け入れている。「加計ありき」だったか否かの真相が今も見えない中、大槻氏は「親御さんや学生の気持ちを考えると、教育現場にいた自分がこれ以上何も言うべきではない。今後は国会で政治の責任として対応してほしい」と望んだ。

岡山・加計学園 獣医学部新設問題 柳瀬氏招致 太田肇・同志社大教授(組織論)、右崎正博・独協大名譽教授(憲法学)の話

毎日新聞 2018年5月11日 東京朝刊

官邸でのそんたく裏付け 官僚組織に詳しい太田肇・同志社大教授(組織論)の話

柳瀬氏が加計学園関係者とだけ会ったと認めたことは、官邸でそんたくが行われていたことを意味する。面会の事実を安倍晋三首相に本当に報告しなかったのなら、首相の立場が苦しくなるかもしれないとそんたくしたためだろう。官僚組織や国家戦略特区の問題点も露呈した。加計問題では意思決定過程の透明性や説明責任が求められているが、記録がなく、国民の目で事実や正当性を判断できない。事後的に外部の目で検証できるよう、打ち合わせ記録などを官僚に保存させる制度が必要だ。

記録に残さないことが異常 情報公開に詳しい右崎正博・独協大名譽教授(憲法学)の話

国家戦略特区という目玉政策について、特定の事業者と首相官邸で3回も会いながら、記憶ベースで、あいまいな説明で逃れようとするのは納得しがたい。執務時間中でもあり、記録に残さないこと自体が異常だ。(当初柳瀬氏は否定した)官邸での面会も愛媛県に残された文書で認めざるを得なくなった。しかし、県はこれを備忘録という扱いにし、今治市は面会相手についての記録を公開していない。官邸も自治体も文書に対するスタンスに問題があると言わざるを得ない。

産経新聞 2018.5.10 15:26 更新

【柳瀬氏参考人招致】「柳瀬氏は丁寧に答弁していた」 河村建夫衆院予算委員長

自民党の河村建夫衆院予算委員長は10日午後、所属する二階派（志帥会）会合で、午前にかかれた予算委の参考人招致について「柳瀬唯夫元首相秘書官（現経済産業審議官）は丁寧に答弁されていた」と述べた。

柳瀬氏は参考人招致で、学校法人「加計学園」の獣医学部新設をめぐり、平成27年4月に首相官邸で加計学園関係者と面会したことを認めたが、愛媛県や同県今治市の職員と会った認識はないと説明した。面会時に「首相案件」と発言したことは否定した。

河村氏は「国家戦略特区という制度は内閣でやる。そういう意味では『総理マター』なのは間違いない」とした上で「全体としては特区のあり方としては当然の流れになった」と述べ、認定までの過程に問題はなかったとの認識を示した。

安倍首相「全て明らかに」＝「疑念深まる」と野党批判―柳瀬氏招致



首相官邸に入る安倍晋三首相＝10日午前、東京・永田町

安倍晋三首相は10日午前、学校法人「加計学園」の獣医学部新設問題をめぐる柳瀬唯夫元首相秘書官の衆院予算委員会での参考人招致について、「私は見ていない」とした上で「誠実に答えると思うし、全てを明らかにしてもらいたい」と語った。首相官邸で記者団の質問に答えた。菅義偉官房長官は記者会見で「（認可プロセスが）適切だったとの認識に変わりはない」と強調した。

「記憶」の矛盾回避＝柳瀬氏、答弁そつなく

一方、野党からは「加計ありき」の疑惑が深まったとの批判が相次いだ。立憲民主党の長妻昭代表代行は予算委での質問後、記者団に対し、柳瀬氏が学園関係者と首相官邸で3回面会したことについて「予想以上に濃密な接触がある」と指摘。「岩盤規制に穴を開けたら『お友達』しか通れないのであれば、国会として全容解明しないといけない」と述べ、証人喚問で改めてたす必要があると主張した。

長妻氏はまた、柳瀬氏が学園関係者との面会を首相に報告しなかったと説明したことについて「一番違和感があった。あり得ない」と疑問視した。

国民民主党の今井雅人氏も質疑後、記者団に「今治市（職員ら）はついて行っただけで、官邸との窓口は加計学園だ。加計ありきと思わざるを得ない」と力説。学園関係者の国

会招致を求めた。

自身も首相秘書官の経験がある衆院会派「無所属の会」の江田憲司氏は質疑で「自治体の陳情は担当部署が受けるものだ。異例中の異例の面談をした」と柳瀬氏の対応を批判。共産党の宮本岳志氏は記者団に「柳瀬氏は真相を語っていない。首相を守るシナリオ通りの答弁だ」と断じた。

（時事通信 2018/05/10-12:38）

野党、加計問題の全容解明へ追及 参考人招致で一斉批判 共同通信 2018/5/10 18:44

野党は10日、加計学園問題を巡り、首相官邸での学園関係者との面会を明らかにした柳瀬唯夫元首相秘書官の参考人招致に関し「3回も会っており、予想以上に濃密な接触だ。全容解明しないといけない」（立憲民主党の長妻昭代表代行）などと一斉に批判し、疑惑解明に向け国会で追及を強める。

国民民主党の大塚耕平共同代表は記者会見で、安倍晋三首相に加計学園関係者との面会の事実を報告していないとの柳瀬氏の答弁について「にわかには信じることは到底できない」と強調。共産党の志位和夫委員長も会見で「首相の分身である秘書官が、首相に指示も仰がなければ報告もしないのはあり得ない」と述べた。

加計学園問題「区切りついた」 与党、収束を期待 共同通信 2018/5/10 17:52

与党は10日、学校法人「加計学園」の獣医学部新設を巡る柳瀬唯夫元首相秘書官の参考人質疑について「柳瀬氏と安倍晋三首相や各省のやりとりはなかったことがはっきりした。一定の区切りがついた」（森山裕自民党国対委員長）と評価し、問題の収束を期待した。

公明党の北側一雄中央幹事会会長は記者会見で「大事なことは、首相や官邸の不当な関与があったかどうかだ。少なくとも、そういうことを示す話は全くなかった」と強調した。

一方、自民党の石破茂元幹事長は記者団に「加計学園だけが特別扱いされたのではないかとの疑問が完全に払拭されたとは思わない」との認識を示した。

参考人招致 「疑惑は深まった」野党、柳瀬氏の喚問求める

毎日新聞 2018年5月10日 21時57分(最終更新 5月11日 02時42分)



衆院予算委員会で学校法人「加計学園」による獣医学部新設を巡る問題について答弁する柳瀬唯夫元首相秘書官（現経済産業審議官、右）＝国会内で2018年5月10日午前9時4分、川田雅浩撮影

野党各党は10日、柳瀬唯夫元首相秘書官が衆参両院の予算委員会で、首相官邸で加計学園関係者と2015年に計3回会っていたと答弁したことを巡り、追及する姿勢を強めた。「加計ありきの疑惑は深まった」として、柳瀬氏の証人喚問などを求める構えだ。一方、与党は「一定の区切りがついた」（自民党の森山裕国対委員長）として幕引きを図ろうとしている。

立憲民主党の逢坂誠二衆院議員は10日の党会合で「加計学園だけが、3度も官邸で首相秘書官のアドバイスを受けている。これを特別扱いと言わずになんと言うのか」と強調。安倍晋三首相が加計学園の選定に「一点の曇りもない」と繰り返していることに触れ、「試験問題も答えも知っている人は試験会場で不正はしない。だから一点の曇りもないことになる」と指摘した。

柳瀬氏が首相への報告をしていないとした点にも批判が続出。立憲の長妻昭代表代行は記者団に「首相に一切報告しない首相秘書官ってあり得ない」と指摘した。国民民主党の大塚耕平共同代表は記者会見で「今度は首相発言の信ぴょう性がますます疑われてきた」との認識を示した。

加計学園の加計孝太郎理事長は首相の親友で、2人は食事やゴルフを何度もしている。首相は今年の国会答弁で代金負担について「私の時も先方の時もある」としており、「無所属の会」の江田憲司衆院議員は「首相の意向を受けた秘書官が加計ありきでやったとすれば、贈収賄やあっせん利得罪にも当たる案件になりかねない」と記者団に語った。共産党の志位和夫委員長は「学園関係者と3回も会っていたこと自体が加計ありきの首相案件だったと示すものだ」と批判した。【遠藤修平、立野将弘】

柳瀬氏、加計面会認める＝官邸で3回、首相指示は否定－参考人質疑



衆院予算委員会に参考人として招致され、挙手する柳瀬唯夫経済産業審議官＝10日午前、国会内

衆院予算委員会は10日午前、学校法人「加計学園」の愛媛県今治市での獣医学部新設をめぐる、安倍晋三首相の秘書官だった柳瀬唯夫経済産業審議官を参考人として招致

し、質疑を行った。柳瀬氏は従来の答弁を軌道修正し、学園関係者と首相官邸で3回面会したことを認め、獣医学部新設を解禁する規制緩和は「総理が早急に検討する案件である」と説明したと語った。首相からの指示は否定した。

愛媛県職員が作成した文書には、柳瀬氏が2015年4月2日、県と市、学園の3者と面会した際に「本件は首相案件」と発言したとの記述がある。これに関し、柳瀬氏は加計学園の個別案件を指したのではなく、「伝えたかった趣旨とは違う形で伝わっている」との認識を示した。県や市の職員との面会については「(学園関係者の) 随行者の中にいたのかもしれない」と述べた。

焦点は計画を17年1月20日に初めて知ったとする首相答弁の信ぴょう性に移るが、柳瀬氏は面会の前後で首相に報告したことはなく、指示も全く受けていないと説明。「(首相が) どこでどう認識したか私には分からない」と語った。



衆院予算委員会に参考人として招致され、答弁する国家戦略特区諮問会議の八田達夫議員＝10日午前、国会内

関係省庁へ指示などはしておらず、学部新設手続きへの自身の関与も否定。国家戦略特区に関する面会の申し入れがあったのは加計学園だけだったが、「特別扱いしたことはない」と述べた。

柳瀬氏は学園関係者との首相官邸での面会は15年2～3月が最初で、この際に学部新設の意向を把握。同年4月の面会相手の中心は、獣医学部長に就任した吉川泰弘氏で、文部科学、農林水産両省からの出向者を同席させたと説明した。同年6月までにも、官邸で学園関係者と一度会ったという。

加計孝太郎理事長に関し、柳瀬氏は13年5月に山梨県鳴沢村の首相の別荘で面識を持ち、「(首相と) 友人関係だろうとは認識していた」と述べた。別荘には学園関係者もいたという。

同じく参考人で政府の国家戦略特区諮問会議議員の八田達夫大阪大名誉教授は「首相や秘書官から何ら働き掛けを受けたことはない」と述べ、事業者選定への影響も否定した。(時事通信 2018/05/10-13:10)

獣医学部解禁を照会＝加計面会前、内閣府に一参院予算委・柳瀬氏



参院予算委員会に参考人として招致され、答弁する柳瀬唯夫経済産業審議官＝10日午後、国会内

元首相秘書官の柳瀬唯夫経済産業審議官は10日、参院予算委員会に参考人として出席し、学校法人「加計学園」関係者との2015年4月2日の面会前、国家戦略特区を担当する藤原豊内閣府地方創生推進室次長（当時）に、獣医学部新設を解禁する規制緩和の検討状況を照会していたと明らかにした。加計学園の計画を伝えたかどうかは「覚えていない」と確認を避けた。野党は藤原氏や学園の加計孝太郎理事長の証人喚問を要求した。

柳瀬氏は同年2～3月に学園関係者と首相官邸で初めて面会した際、獣医学部新設に当たり、国家戦略特区の活用に言及したことも明かした。4月2日の面会に関しては、愛媛県の文書に柳瀬氏が「国家戦略特区の方が勢いがある」と述べたとの記載がある。柳瀬氏は「安倍政権の成長の柱として（制度を）スタートした直後なので、会う人会う人に『こういうのができたんですよ』と宣伝していた」と語った。

柳瀬元首相秘書官の答弁ポイント



- 加計学園関係者との面会**
「加計学園関係者と面会した。首相官邸で会った3回は覚えていない」
- 「首相案件」発言**
「獣医学部新設の解禁は、総理が早急に検討していくと述べた案件だと紹介した」
「しかし「首相案件」と言うとは思わない。普段「首相」という言葉は使わないので、違和感がある」
- 首相の関与**
「（加計孝太郎氏が）総理と友人だろうとは思っていたが、加計学園の件について総理に対して報告したことも、指示を受けたことも一切ない」
「総理がどこでどう（新設計画を）認識したかは分からない」
- 「加計ありき」の疑い**
「加計学園をパートナーとするかは今治市の判断であって、われわれの判断ではない」

学園関係者との面会をめぐり、安倍晋三首相には報告しなかったものの、昨年7月、今井尚哉首相秘書官（政務）に対し、今治市職員との面会について「記憶はない」と伝える一方、学園関係者らとの面会については「記憶はある」と説明した。

同月の閉会中審査で学園関係者との面会を明かさなかった理由について、柳瀬氏は「今治市の職員の方と会ったのかという質問を何度も受けた」と述べ、直接聞かれなかったためと釈明した。

柳瀬氏は委員会の冒頭、国会の混乱を招いたことを謝罪した。午前中の衆院予算委で4月2日と説明した吉川泰弘獣医学部長との面会時期については「4月2日か、その前の2～3月だったのかは必ずしもクリアではない」と修正した。（時事通信 2018/05/10-18:41）

「加計」問題に関する柳瀬元秘書官の説明変遷



参院予算委員会に参考人として招致され、挙手する柳瀬唯夫経済産業審議官＝10日午後、国会内

【関係者との面会】（上段4月10日コメント、下段5月10日参考人質疑）

▽自分の記憶の限りでは、愛媛県や今治市の方にお会いしたことはない。

▽（2015年）4月2日だったと思うが、加計学園関係者と面会した。随行者の中に愛媛県、今治市の方がいたか記録が残っていない。同席者の中にいたかもしれない。

【首相案件発言】（同）

▽外部の方にこの案件が首相案件になっているといった具体的な話をすることはあり得ない。

▽獣医学部新設解禁は総理が「早急に検討していく」と述べている案件だという趣旨は紹介したように思う。しかし、今治市の個別プロジェクトが「首相案件」である旨を言うとは思わない。愛媛県職員のメモは、私が伝えたかった趣旨とは違う形で伝わっている。（時事通信 2018/05/10-17:16）

柳瀬氏、淡々と語る 官僚「記憶はあったのだろう」

朝日新聞デジタル 2018年5月10日 12時18分



衆院予算委で、自民党の後藤茂之氏の質問に答弁するため挙手する柳瀬唯夫・元首相秘書官＝10日午前9時2分、岩下毅撮影

「学園の方と会った」「官邸で3回」。加計学園関係者らとの面会を「記憶にない」と繰り返してきた柳瀬唯夫・元首相秘書官が10日、一転して国会で認め、これまでの説明が不十分だったと謝罪した。淡々と言葉を重ねる姿に、同じ官僚たちは我が身を重ねながら見入った。

「加計学園の方、その関係者の方と面会いたしました」

10日の審議の冒頭、後藤茂之議員（自民）から2015年4月2日の面会の事実を聞かれ、柳瀬氏はこう認めた。

柳瀬氏によると、相手方は10人近くいたが、主に話したのは吉川泰弘元東大教授（現・岡山理科大獣医学部長）や学園の事務局の職員ら。「（獣医学部の新設を）国家戦略特区制度を活用する方向で検討している」との話があったという。愛媛県や今治市の職員は、「今でも同席者にいたか分かりません」としつつ、「随行者の中にいたのかなと思います」と手元のメモを見ながら話した。

柳瀬氏はさらに、この面会の前後にも官邸で加計学園の関係者と会い、面会が計3回あったと説明。学園の加計孝太郎理事長と安倍晋三首相の友人関係も「認識していた」と話した。

昨年7月に国会招致された時から、1年近くにわたって「面会は記憶にない」と繰り返していた柳瀬氏は、言いよどむこともなく質問に答え続けた。後藤議員が「どうして今まで話をしなかったのか」と問うと、柳瀬氏はこれまで今治市や愛媛県との面会について聞かれていたと弁明。「質問に一つ一つ答えた結果、全体像が見えなくなり、大変わかりづらくなった」と謝罪した。

愛媛県が面会について作成した文書に残されている「首相案件」という言葉も聞かれた。柳瀬氏は「（獣医学部の新設について特区諮問会議で）総理が早急に検討していきたいとおっしゃってましたので、そういう趣旨を申し上げた」と述べ、「今治市のこのプロジェクトについてそういう趣旨で申し上げたとは到底思えません」と語った。

野党は、柳瀬氏と安倍首相の関係を追及した。長妻昭議員（立憲民主）は「首相と秘書官は一心同体。目となり耳となる」と指摘。加計学園とのやり取りを安倍首相にどう報告したか、質問した。だが、柳瀬氏は「いちいち報告したことは、これに限らず、ございません」と強く否定。委員会室では「えー」「秘書官失格だ」とヤジが飛んだ。

宮本岳志議員（共産）は柳瀬氏が昨年8月の朝日新聞の

取材に、加計学園幹部との面会も「記憶にない」と答えたことをただした。柳瀬氏は「よく聞き取れなかった」「国会で呼ばれば、ちゃんと説明しようという風に考えていた」と述べた。

柳瀬氏の答弁を、官僚たちはどう受け止めたのか。

国会中継をテレビで見た経済産業省の課長級の男性職員は「いつも通り淡々としている印象だ」と話す。ただ、柳瀬氏が「記憶にない」と述べてきたことについては「答弁内容の記憶はもともとあったのだろう」と指摘した。

柳瀬氏は同省の事務方ナンバー2。あえて中継を見なかった別の課長級の男性職員は「よく知っている人なので、痛ましくて見てられない」と話した。

文部科学省の幹部の一人は「説明にそれほど違和感はない」と語った。「加計学園について聞かれなかったので答えなかった」という柳瀬氏の釈明も「国会答弁で余計なことを話さないのは鉄則。役人の性（さが）だ」と理解を示した。

ただ、柳瀬氏は加計学園関係者との面会について、安倍首相に全く報告していなかったという説明には首をかしげた。「総理と理事長が懇意であることを知っていれば、役人的センスからすると話したくなるのが自然かもしれない」という。

国土交通省幹部は、柳瀬氏が加計学園側との面会を認めたことについて、「最初からはっきりと言えばよかったのに。『記憶にない』で逃げようとしたから、逆に疑わしい雰囲気が強まってしまった」と語る。「総理を筆頭に、国会で断言調の答弁がはやったから、それに引きずられたのかな。口先で逃げ切れると思ったのかもしれない」と推測した。

別の同省幹部は「総理と理事長が友人であることを知らなかったはずはないわけで、加計学園を特別視する感情は全くなかったと証明するのは難しい」とする一方で、「官邸で秘書官が面会に使う部屋は狭い。その中で人がすし詰めのようになる。来訪者全員の属性を把握していないのは、不自然ではないとは思う」とも語った。

柳瀬氏、改めて謝罪＝霞が関に冷めた声－国会での参考人質疑後



国会の参考人招致後、取材に応じる柳瀬唯夫経済産業審議官＝10日午後、東京・霞が関

元首相秘書官の柳瀬唯夫経済産業審議官は10日夕、国会での参考人質疑後、経産省で記者団に対し「（過去の答弁

で)国会審議に大変なご迷惑をかけたことをおわびしたい」と述べ、深々と頭を下げた。霞が関では、追及を逃れようと「官僚答弁」を繰り返す柳瀬氏への冷めた声も聞かれた。

獣医学部新設をめぐる学校法人「加計学園」問題の参考人質疑で、「記憶にない」としていた従来の答弁を覆し、関係者と首相官邸で面会したことを認めた。ただ、記者団に対して「(安倍晋三首相に面会を)報告したことはない」と語り、改めて首相の関与を否定した。

経産省幹部は「秘書官時代の話。その立場にただで批判の矢面に立たされている」と同情的。一方、別の経済官庁幹部は、柳瀬氏の受け答えについて「国民の理解を得られるかは疑問だ」と突き放した。(時事通信 2018/05/10-19:09)

総理に報告する案件とは？ 柳瀬氏、記者団に答えず

朝日新聞デジタル 2018年5月10日 18時33分

加計学園の獣医学部新設計画めぐり、国会に参考人として出席した柳瀬唯夫・元首相秘書官(現経済産業審議官)が10日夕、東京・霞が関の経産省で記者団の取材に応じた。加計学園関係者と官邸で計3回面会したことを安倍晋三首相に報告したかを問われたが、「総理にはこの件、ご報告したことはありません。国会で答弁申し上げた通りです」と改めて否定した。

答弁が国民の理解を得られたかを問われると、「私としては、最大限誠心誠意、一生懸命答弁をしたつもり。それをみなさまがどう受け止められたかは、コメントすべきではない」と答えた上で、「(昨年7月の)私の国会答弁をきっかけに、国民のみなさまにわかりづらくなって、ひいては国会審議に大変なご迷惑をかけたこと、おわび申し上げたい」と謝罪した。

「総理に報告するのはどんな案件なのか」との問いかけには答えず、自室に入った。

「私としては誠心誠意お答えした」参考人質疑終え柳瀬氏 NHK5月10日 18時53分



国会での参考人質疑を終えた元総理大臣秘書官の柳瀬経済産業審議官は、10日夕方経済産業省で記者団の取材に対し、「誠心誠意、一生懸命お答えしたつもりです」と述べました。

この中で柳瀬元総理大臣秘書官は記者団から「国会での説明に野党から不満の声があがっているが」と問われたのに

対して、「私としては、誠心誠意、一生懸命お答えしたつもりです」と述べました。

また、加計学園関係者との面会を安倍総理大臣に報告していないのかと問われたのに対して、柳瀬元秘書官は「総理にはこの件を報告したことはありません。これは国会でも答弁で申し上げたとおりでございます」と重ねて否定しました。

さらに柳瀬元秘書官は記者団からの「国民の理解は得られたと考えるか」という質問に対しては「私としては最大限、誠心誠意、一生懸命、答弁したつもりです。皆様はどう受け止めたかは私はコメントすべきではないと思います。ただ、私の国会答弁をきっかけに国民の皆様に分かりづらくなって、国会審議に大変ご迷惑をかけましたことをおわびを申し上げたいと思います」と述べました。

また柳瀬元秘書官は、「午前中の衆議院予算委員会で元東大教授の方とお会いしたのは4月の面談だったという趣旨を申しあげましたが、お会いしたのは3月だったのか、4月だったのかははっきり覚えていないので、午後の参議院予算委員会ではそのように答弁しました」と述べました。

際立つ加計優遇 参考人招致で柳瀬氏「官邸で3回面会」

東京新聞 2018年5月11日 朝刊

衆院予算委の参考人質疑で、発言を求めて挙手する柳瀬唯夫元首相秘書官＝10日、国会で(小平哲章撮影)



学校法人「加計(かけ)学園」の獣医学部新設を巡り、衆参両院の予算委員会に十日、参考人招致された柳瀬唯夫元首相秘書官(現経済産業審議官)は、首相官邸で二〇一五年に学園関係者と三回面会し、国家戦略特区の活用を紹介したことを明らかにした。「学園を特別扱いたとか優遇したとかは全くない」と強調したものの、特区を所管する内閣府幹部を官邸に呼んで説明を受けたことも判明。異例ともいえる厚遇ぶりが浮き彫りになった。(池田悌一)

柳瀬氏の説明によると、官邸での面会は同年二～三月に一回と四月二日、六月前後の計三回で、学園側から申し入れがあった。愛媛県作成の文書によると、柳瀬氏は四月二日の面会で、「本件は首相案件」と説明したとされるが、「総理が早急に検討していくと述べている案件という趣旨」と説明。「今治市の個別プロジェクトが首相案件とは言っていない」と述べた。

これまで国会で学園との面会を明らかにしなかった理由について「加計学園の関係者と会った記憶はあったが、今治市の職員と会ったのかと質問を受けたので、それに対してお答えした」と弁明した。

文書には、安倍晋三首相と加計孝太郎学園理事長が会食した際に獣医学部新設が話題に上ったと学園関係者が語ったと記載されているが、「そのような会話が合った記憶は全くない」と否定。学園との面会を安倍首相に報告したことは「一切ない」と断言した。

一方、二回目の面会となる四月二日の前には、内閣府の藤原豊・地方創生推進室次長（当時）から、国家戦略特区や獣医学部の解禁について説明を受けたと答弁。県作成文書によると、藤原氏は四月二日、学園関係者らと会い「要請の内容は総理官邸から聞いている」「かなりチャンスがある」と述べたとされる。

柳瀬氏は二～三月の面会の際は、学園側から構造改革特区での獣医学部新設が難航していることを告げられ、「新たに国家戦略特区が始まった」などと助言。六月前後の面会では、学園側から、県と市が国家戦略特区に申請したと報告を受けたという。

柳瀬氏は「国家戦略特区の関係で会った民間の方は加計学園だけだ」と明かしたが、「事業者選定は（一五年八月に）秘書官ポストを離れたずっと後で、私が選定に関与する余地は全くない」と述べた。

◆次は首相が答える番

「記憶にない」から「国会で誠実に答える」と軌道修正した柳瀬氏。この日の答弁から、国家戦略特区を活用した加計学園の獣医学部開設が、特別扱いだっただけの疑いが濃厚になった。

柳瀬氏は数カ月の間に三回も学園関係者らと首相官邸で集中的に面会。関係省庁や特区担当の内閣府から情報収集するなど、多忙を縫って支援した。首相の側近が学園の学部開設をお膳立てしたとも取れる厚遇ぶりには、「加計ありき」を雄弁に語る。それでも政府はプロセスに一点の曇りもないと言えるのだろうか。

柳瀬氏は愛媛県作成文書にあった自身の発言について、「趣旨は違うところがある」としながらも、全体的に類似の発言があったことは認め、文書の信ぴょう性も裏付けられた格好だ。

一方で、首相と加計理事長の会食時のやりとりに触れた、学園出席者の発言とみられる部分は「聞いた記憶はない」

と否定。首相の関与があったのかという疑問は残されたままで。

やりとりが事実であれば、「学園の計画を知ったのは一七年一月二十日」との首相答弁は虚偽だったことになる。次は首相と加計氏が「誠実」に答える番だ。（中沢誠）

柳瀬唯夫元首相秘書官の 答弁ポイント
● 2013年5月に安倍晋三首相の別荘で加計学園の加計孝太郎理事長と会った
● 15年2～3月ごろ学園関係者と面会し、学園の計画を認識
● 同年4月ごろ、首相官邸で学園関係者と面会。愛媛県、今治市職員が10人近い随行者の中にいた可能性も否定せず
● 今治市の個別プロジェクトが首相案件になるとは言っていない。愛媛県文書は、自身が伝えなかった趣旨と相違
● 官邸で学園関係者と会ったのは計3回。3回目は今治市が特区申請した6月4日前後。いずれも自らの判断。国家戦略特区関係で、ほかに民間と面会せず
● 首相には一切報告せず、指示もなし
● 加計氏と首相が友人関係と認識。特別扱いはしていない

しんぶん赤旗 2018年5月11日(金)

「加計」と面会 官邸で3回 柳瀬氏一転 認める 衆参参考人質疑 宮本・田村両氏ただす

学校法人「加計学園」の愛媛県今治市での獣医学部新設をめぐって、2015年4月に県や市、学園幹部と首相官邸で面会したとされる柳瀬唯夫元首相秘書官の参考人質疑が10日、衆参両院の予算委員会で行われました。柳瀬氏は「記憶の限りでは会っていない」としてきた答弁から一転して、加計学園関係者と官邸で面会したことを認め、学園関係者との官邸での面会は計3回にのぼることも明らかにしました。また、県職員が作成した面会のやりとりを記した文書についても、その内容を大筋では否定できませんでした。

柳瀬氏は、加計学園関係者とは13年5月に安倍晋三首相の別荘で会い、学園関係者の指名で15年2～3月頃、4月2日、6月頃の計3回、官邸で面会したと発言。「特区の関係で会った民間の方は、加計学園だけだ」と述べ、異例の扱いがされていたことが明らかになりました。

ただ、加計学園の件については、安倍首相から指示を受けたことも、報告したことも「一切ない」と否定。県職員

作成の面会文書で、柳瀬氏が「首相案件」と述べたとされている点については「個別プロジェクトが首相案件になるという旨を言うとは思えない」「伝えたかった趣旨とは違う」と弁明しました。

さらに、獣医学部新設の解禁について、柳瀬氏は、安倍首相から「『早急に検討していきたい』という指示が出ていた」「制度設計を議論する際に、ある程度ニーズがあるかどうかを思慮に入れるのは当然」と発言。質疑に立った日本共産党の田村智子副委員長（参院議員）が、獣医学部新設は「規制改革の重要事項」23項目の一つにすぎないのに、柳瀬氏が特別に重要視している点をあげ、安倍首相からの指示もなく、報告もしていないなどありえないと追及すると、柳瀬氏は「なんでもかんでも総理にあげればいいのかというものでもない」など、苦しい弁明に終始しました。

さらに、日本共産党の宮本岳志衆院議員は、県職員が作成した面会文書では、安倍首相と加計理事長が会食した際のやり取り

の記載があるにもかかわらず、柳瀬氏がこの点だけは明確に否定している点について、「なぜ、断言できるのか」と追及。柳瀬氏は「記憶にない」というだけでまともに答えられませんでした。

田村、宮本両氏は、獣医学部新設が“加計ありき”で進められた疑惑はさらに深まったとして、加計学園の加計孝太郎理事長ら関係者の証人喚問を求めました。



(写真) 答弁する柳瀬唯夫元首相秘書官＝10日、衆院予算委



(写真) 質問する宮本岳志議員＝10日、衆院予算委



(写真) 質問する田村智子議員＝10日、参院予算委

柳瀬氏参考人質疑受け 与野党は

NHK5月11日 5時09分

加計学園の獣医学部新設をめぐる柳瀬元総理大臣秘書官らの参考人質疑を受け、与党側は一定の区切りがついたとして、働き方改革関連法案などの審議を加速させたい考えです。これに対し、野党側は、疑惑はさらに深まったとして、柳瀬氏の証人喚問を迫るなど、追及を強める方針です。加計学園の獣医学部新設めぐり、10日、衆参両院の予算委員会で、柳瀬元総理大臣秘書官らを参考人招致して、質疑が行われました。

柳瀬氏は、平成27年4月など3回、総理大臣官邸で、学園の関係者と面会したことを認めました。一方で、面会について、安倍総理大臣に報告したり、指示を受けたりしたことはないと説明しました。

与党側は、安倍総理大臣の関与はなく、獣医学部新設の手続きが適正に行われたことが明確になり、一定の区切りがついたとして、働き方改革関連法案などの審議を加速させたい考えです。

これに対し、野党側は、柳瀬氏が、学園関係者と官邸で半年に3回面会するなど、「加計学園ありき」で手続きが進められた疑惑はさらに深まったとして、来週14日に開かれる予算委員会の集中審議で、改めて、安倍総理大臣本人にたずねることにしています。

また、真相を解明するため、柳瀬氏を、うその証言をした場合に罰せられる、「証人喚問」することや、学園の加計孝太郎理事長、愛媛県の中村知事ら関係者の国会招致を与党側に迫るなど、追及を強める方針です。

柳瀬氏発言のポイント 学園関係者と面会は？ 首相案件は？

NHK5月10日 18時59分

柳瀬元総理大臣秘書官の参考人質疑では、3年前に学園の関係者らと総理大臣官邸で面会したのかや、その際「首相案件だ」と発言したのかどうかなどが焦点となりました。発言のポイントをまとめました。

学園関係者との面会 認める

学園の関係者らとの面会をめぐっては、先月、愛媛県の担当者が3年前に、学園の関係者らと総理大臣官邸を訪問した際の柳瀬氏とのやり取りを記したとする文書が明らかになる一方、柳瀬氏はこれまで、国会答弁やコメントで、「記憶の限り」と断ったうえで、「愛媛県や今治市の方には会ったことはない」としていました。

これについて、柳瀬氏は、文書のとおり、3年前に学園の関係者と面会したことを認めたうえで、愛媛県や今治市の関係者が同席していたかもしれないという認識を示しました。

さらに、総理大臣官邸で学園関係者と面会したのは、合わせて3回だったことを明らかにしたほか、この間の面会相

手には、加計学園の獣医学部の学部長に就任した吉川泰弘氏が含まれると説明しました。

加計学園案件を「首相案件」と言っていない

また、愛媛県が作成した文書に、柳瀬氏が「首相案件だ」と発言したと記されていたことをめぐって、先に柳瀬氏は、「私が外部の方に対して、この案件が首相案件になっているといった具体的な話をすることはありません」というコメントを出していました。

これについて、柳瀬氏は、安倍総理大臣が公式な場で獣医学部新設を含む規制緩和の検討に言及したことを紹介した可能性はあるとする一方、加計学園の案件を「首相案件」とは言っていないと否定しました。

加計学園を特別扱ったことない

そして、文書に、愛媛県の担当者らが獣医学部新設に向けたアドバイスを受けたなどと記されていたことについて、柳瀬氏は、公開されている制度や基準などを丁寧に説明したとしたり、加計学園を特別扱ったことではないと述べ、「加計学園ありき」とする野党側の指摘を否定しました。

総理に報告したことも指示受けたこともない

さらに、安倍総理大臣の関与をめぐって、柳瀬氏は、みずから加計学園の獣医学部新設の計画を認識したのは、3年前の2月から3月ごろに、学園関係者と面会した時だとする一方、この件について、安倍総理大臣に報告したことも、指示を受けたこともないと否定しました。

衆参予算委詳報

10日に衆参両院予算委員会で行われた参考人質疑の詳細は次の通り。

【衆院】

後藤茂之氏（自民） 2015年4月2日に愛媛県、今治市、加計学園関係者と会っていないか。

柳瀬唯夫元首相秘書官 加計学園事務局の方から面会の申し入れがあり、4月ごろ、おそらく4月2日だったと思うが、学園関係者と面会した。元東大教授と学園事務局の方がお話しになっていた。随行者に愛媛県や今治市の方がいたか記録が残っていない。私は今でも分からないが、10人近くの同席者の中にいたかもしれない。

定かな記憶がないのに「必ずお会いしました」「絶対にお会いしていません」と申し上げるのは、うそになる可能性があると思った。随行者全員と名刺交換をしたかは分からない。私が保存している名刺の中に、今治市や愛媛県の方の名刺はなかった。

後藤氏 なぜ加計学園関係者と知り合ったのか。

柳瀬氏 以前、総理とご一緒した際に加計学園関係者とお会いしたことがあった。その後、15年2～3月ごろ、加計学園事務局の方から「上京する際にうかがいたい」と申し入れがあり、官邸でお会いした。その後、学園事務局

から面会の申し入れがあって、多分4月2日だったと思うが、お会いした。その後、加計学園の方が「今治市が国家戦略特区の提案を行うことになった」という話をしに、官邸に顔を出された記憶もある。

後藤氏 2回目の面会までに何か調べたり、指示をしたりしたか。

柳瀬氏 戦略特区の事務局から特区制度の現状についてレク（説明）を受ける機会があった。個別の自治体や事業者について各省に指示やお願いをしたことはない。

後藤氏 4月の面会以降、担当省庁等との間でやりとりをしたか。

柳瀬氏 私から内閣府に連絡した記憶はない。具体的な指示もしていない。各省との間で本件をやりとりした覚えはない。

後藤氏 「加計学園ありき」でプロセスが進んだのではないか。

柳瀬氏 秘書官在籍当時は、制度設計を検討している段階だった。秘書官を離任した後も制度設計の検討が1年以上も続き、制度を適用する事業者の選定は17年になってから始まったと聞いている。私が具体的な地点や事業者の選定に関与する余地は全くなかった。

後藤氏 加計学園の加計孝太郎理事長と安倍晋三首相との関係をどのように認識していたか。

柳瀬氏 友人関係だろうとは認識していた。特別扱ったことはない。秘書官時代、私が覚えている限りアポイントを断ったことはない。

後藤氏 「首相案件」と言ったのか。

柳瀬氏 国家戦略特区制度は安倍政権の成長戦略の看板政策として創設した制度であることは説明した。獣医学部新設解禁は総理が「早急に検討していく」と述べている案件だという趣旨は紹介したように思う。しかし、今治市の個別プロジェクトが首相案件になるという旨を申し上げるとは思わない。そもそも私は「首相」という言葉は使わないので、違和感がある。愛媛県職員のメモは、私が伝えたかった趣旨とは違う形で伝わっている気はする。

後藤氏 首相に報告したり、何らかの指示を受けたりしたことは。

柳瀬氏 報告したことも指示を受けたことも一切ない。総理と加計学園関係者がいる時に獣医学部新設の話が出た覚えも全くない。

竹内譲氏（公明） 15年4月ごろに官邸で会った加計学園関係者は現在、岡山理科大学獣医学部長の吉川泰弘氏か。

柳瀬氏 「元東大教授で、千葉の大学に在籍している」と言っていた。半年くらい前、たまたまニュースで見かけ、来られた方が獣医学部長予定者であると認識した。

竹内氏 15年2～3月ごろに会った時も吉川氏が来たのか。

柳瀬氏 多分いなかったと思う。

竹内氏 「自治体が死ぬほど実現したいとの意識を持つことが最低条件」と発言したか。

柳瀬氏 詳細を覚えているわけではないが、閣議決定された国家戦略特区基本方針の中で「地方公共団体の意欲、実行力」という要件が明記されている。当然、自治体の熱意が前提であるという趣旨は言ったと思う。

竹内氏 「加計学園はけしからん」という下村博文文部科学相（当時）の発言に覚えは、

柳瀬氏 全くない。

竹内氏 加計関係者との面会を首相に報告したか。

柳瀬氏 事前にも事後にも報告したことはない。

竹内氏 首相から「加計学園をよろしく頼む」というような指示はあったか。

柳瀬氏 全くない。

後藤氏 獣医学部新設に係る国家戦略特区のプロセスで、首相や秘書官から何らかの働き掛けがあったか。

八田達夫国家戦略特区諮問会議議員 首相からも秘書官からも何の働き掛けも受けたことはなかった。

竹内氏 学部新設は新潟市からも京都府からも提案があったが、加計学園が認定された。

八田氏 14年9月に諮問会議の民間議員ペーパーで「獣医学部の新設が重要である」と書いた。そのずっと後に（柳瀬氏と加計学園の）会談が行われた。この会談が獣医学部新設に影響を与えたことは一切ない。

長妻昭氏（立憲） 15年4月2日以降は一度しか会っていないか。

柳瀬氏 官邸で会った3回は覚えている。それ以外は官邸で会った覚えはない。

長妻氏 官邸以外で会ったのは何回か。

柳瀬氏 ゴールデンウイークに河口湖の総理の別荘にお供し、バーベキューをやった時に加計学園の理事長と事務局の方がいた記憶がある。

長妻氏 13年5月6日にゴルフはしたか。

柳瀬氏 多分バーベキューの翌日にゴルフをやって、総理の後ろの方で、秘書官たちでついて行ったと思う。

長妻氏 加計関係者と会食したことは。

柳瀬氏 ないと思う。

長妻氏 バーベキューやゴルフの費用は、首相サイドが払ったか。

柳瀬氏 私には分からない。

長妻氏 （理事長が）首相の親友でなければ会わなかったか。

柳瀬氏 別に総理の親友だからということではない。都合がつく限り、どなたでもお会いした。

長妻氏 獣医学部を希望していた京都産業大、京都府、新潟市とは会ったか。

柳瀬氏 会っていない。

長妻氏 別の案件も含め事業者、自治体と会ったことは。

柳瀬氏 特区の提案者と会ったことはない。

長妻氏 加計のみか。

柳瀬氏 特区の申請者でアポイントの申し入れがあったのはこの件だけなので。

長妻氏 首相は17年1月20日に加計学園の獣医学部新設の話を知ったと言っている。柳瀬氏が初めて知ったのはいつか。

柳瀬氏 15年2～3月に官邸にお越しになった時に獣医学部の話をしていた。獣医学部の新設を今治市と一緒にやろうと考えているんだと認識した。

長妻氏 首相が知るまで2年近く空白があるが、会ったことすら報告しなかったのか。

柳瀬氏 いろんな方と会ったが、総理にいちいち報告したことはない。総理がどこでどう認識されたか、私には分からない。

長妻氏 加計関係者と初めて会ったのは。

柳瀬氏 河口湖のバーベキューだと思う。

長妻氏 「本件は首相案件」と言った記憶はないか。

柳瀬氏 国家戦略特区制度が安倍政権の成長戦略の一丁目一番地、大きな目玉政策だということは言ったと思う。

長妻氏 4月2日は文部科学省と農林水産省から出向の内閣参事官を同席させたのか。

柳瀬氏 事前に状況を聞いたこともあり、同席をお願いした。

今井雅人氏（国民） 私は「加計学園と会っていないか柳瀬氏に聞いてほしい」と言ったが、政府は答えなかった。

柳瀬氏 特に照会を受けた覚えはない。国会として出席要請はなかった。国会でそのようなやりとりがあったのは承知していなかった。

今井氏 4月2日は加計学園から「国家戦略特区で申請したい」という話はあったか。

柳瀬氏 事務局の方から「国家戦略特区制度を活用したいのだけ」という話があったように思う。

今井氏 4月2日は今治市と愛媛県の職員は発言していないか。

柳瀬氏 発言したという記憶はないが、そこは分からない。

今井氏 今井尚哉首相秘書官（政務）にこの話をしたことは。

柳瀬氏 去年、閉会中審査の前に今井秘書官から「今治市との面会があったのか」と事実関係の問い合わせがあったので「記憶はない」と回答した。その際、加計学園事務局と元東大教授の方と会った旨を話した記憶はある。

今井氏 加計学園と面会していた当時、今井秘書官に伝えたことは。

柳瀬氏 全くない。

江田憲司氏（無所属の会） 首相か政務秘書官からの指示があったとしか考えられない。

柳瀬氏 首相からも政務秘書官からも指示は全くなかった。

宮本岳志氏（共産） 加計学園事務局長の同席は記憶にないと朝日新聞に答えているが、うそを言ったのか。

柳瀬氏 よく覚えていないが、出勤する時の歩きながらの会話で、よく聞き取れなかった記憶がある。

井上英孝氏（維新） 加計学園という一当事者にしか会わなかったら疑義を生む。

柳瀬氏 私が（官邸に）いた時はプロジェクトの選定手続きよりも前だった。当然、選定プロセスで競争が始まっていれば配慮が必要だったのではないかと。

【参院】

塚田一郎氏（自民） 加計学園が国家戦略特区での獣医学部新設を検討している事実を知っていて、面会したのか。

柳瀬氏 加計学園が今治市と連携して獣医学部新設を目指しているのは知っていた。ただ、国家戦略特区でというのは4月ごろに聞いたと思う。

塚田氏 国会における停滞を招いたことについて話を聞きたい。

柳瀬氏 昨年の集中審議で今治市職員と会ったのかという質問を何度ももらい、一つ一つ答えてきた。その結果、全体像が見えづらくなり、国会審議に大変ご迷惑を掛けた。深くおわび申し上げたい。

塚田氏 愛媛県メモと柳瀬氏の認識に相違が生まれたことについて意見を。

加戸守行前愛媛県知事 県のメモはアバウトな流れとして雰囲気は伝えているが、一言一句その通りであるはずはない。せっかく東京に出張したから戦果をと、駆逐艦を撃沈しても「戦艦を撃沈しました」と言うのに近いようなことはあるかと思う。4月2日の会合で国家戦略特区のアドバイスをもらったことが今治獣医学部の認可につながった点では感謝申し上げたい。

川合孝典氏（国民） なぜ（加計学園とは会ったと）きちんと説明しなかったのか。

柳瀬氏 今治市、愛媛県の方がいたのか正直、分からなかった。

川合氏 首相官邸は随行者はチェックなく入れるのか。

柳瀬氏 入館手続き、入館記録等がどうなっているのか、私には分かりかねる。

蓮舫氏（立憲） あなたの記憶は自在になくしたり、思い出したりできるものなのか。

柳瀬氏 当然、3年前の記憶だから曖昧な部分もたくさんある。今治市や愛媛県の方とお会いした記憶はなく、加計学園やその関係者と会った記憶はある。そこは一貫している。

蓮舫氏 4月2日の面会に出席した獣医学専門家は吉川氏か。

柳瀬氏 4月2日か、その前の2～3月だったのかは必

ずしもクリアではない。

蓮舫氏 同席した加計学園関係者は文科省OBと聞いている。

柳瀬氏 そこも記憶が必ずしも定かではない。もう一人別の関係者がいたのではないかと。

蓮舫氏（柳瀬氏の）記憶と（愛媛県の）記録はどちらが信用されると思うか。

柳瀬氏 個人の備忘録があちこちに配られ、信用力を高めるとするのはとても変な話だ。片方がメモを取り、片方がメモを取らなければ、メモを取った方が常にこうだと後で言えるのは、さすがにおかしいと思う。

蓮舫氏 愛媛県はうそを書いているのか。

柳瀬氏 愛媛県がどうかと申し上げているつもりは毛頭ない。

秋野公造氏（公明） 4月の面会で、加計学園に「国家戦略特区の方が勢いがある」と言ったのか。

柳瀬氏 詳細は覚えていない。安倍政権の成長の柱として（制度を）スタートした直後なので、会う人会う人に「こういうのができたんですよ」と宣伝していた。そういう趣旨で言ったかもしれない。

田村智子氏（共産） 内閣府に「こういう要請がある」と伝えたか。

柳瀬氏 私から「加計学園からこういう話があった」と伝えたかどうかは覚えていない。

片山大介氏（維新）（加計学園と）5カ月に3回は会い過ぎと思わないか。

柳瀬氏 来るもの拒まずだ。「あなたは2回会ったからもう会わない」というルールがあるわけではない。

片山氏 メモや証拠が出てきても「会っていない」と強弁していた。どう考えても首相を守るためだ。

柳瀬氏 全く違う。

福島瑞穂氏（社民） 記憶喪失が戻ったのはいつか。

柳瀬氏 私の記憶は一貫している。

福島氏 藤原豊内閣府地方創生推進室次長（当時）と4月2日の前後に話をしたか。

柳瀬氏 加計学園の方がお見えになる前、2～3月に会った後に藤原次長と話をし、今どういう状態になっていて、何を狙っているのか、レク（説明）に来てもらった。その際に私から獣医学部解禁の話はどういうふうになっているのか聞いた覚えがある。

薬師寺道代氏（無所属クラブ） 私も岩盤規制と闘ってきた。どんなにいい提案も、省庁同士の折衝の中で崩されてしまう。

加戸氏 構造改革特区は、役所同士の構造で利害関係が決まってしまうというむなしさを感じた。（知事時代に）あらゆる手を尽くしたが、ものすごい壁だった。（時事通信 2018/05/10-20:52）

【国会詳報】柳瀬氏、加計側と面会「官邸3回とBBQ」

斉藤太郎 星野典久

朝日新聞デジタル 2018年5月10日 18時54分



衆院予算委で、自民党の後

藤茂之氏の質問に答弁する柳瀬唯夫・元首相秘書官＝10日午前9時2分、岩下毅撮影

学校法人「加計学園」の獣医学部新設をめぐり、柳瀬唯夫・元首相秘書官（現経済産業審議官）らが、衆参両院の予算委員会に参考人として招致されました。タイムラインで報じるとともに、特別報道部だった昨年からのこの問題取材している政治部の星野典久記者が解説しました。

記憶なし一転「お答えする」 柳瀬氏招致が問う首相答弁
「首相案件」面会メモ 愛媛知事が認めた加計文書全文
特集：加計学園問題

柳瀬氏「アポ断らない」 危機管理大丈夫？

○寸評（星野記者） 柳瀬唯夫・元首相秘書官は2015年4月2日に加計学園幹部と首相官邸で面会したことを認めた際、「政府の外（そと）の方からのアポイントの申し入れに対しては、時間が許す限りお受けするように心がけていました」などと説明しました。

柳瀬氏は「よっぽど反社会的勢力であるとかそういうことを別にすれば」とも述べましたが、これではかなり広範囲の人と面会ができてしまうことになります。私が官邸クラブに所属して取材していたとき、ドローンが許可なく官邸の屋上に飛来したことがありましたが、通常、人の出入りについて官邸の警備は厳重です。記者であっても入廷には特別な登録カードが必要。柳瀬氏とならば誰もが面会ができるようでは、首相官邸としての危機管理が心配になってしまいます。

また、陳情のために面会した場合、柳瀬氏側はメモや入廷記録を取らず、来訪者側だけがメモを取るような状態で、柳瀬氏や安倍首相はトラブルに巻き込まれないのでしょうか。お願いする側のこちらが心配になってしまいます。



参院予算委で共産党の

田村智子氏の質問に答える柳瀬唯夫・元首相秘書官を映すカメラのモニター＝2018年5月10日午後2時43分、国会内、池田良撮影

「実際、私は総理秘書官時代、物理的に日本にいないとか、物理的に時間がないということはあったかもしれませんが、私が動いている限りはアポイントの申し入れをお断りしたことはございません」とまで言い切った柳瀬氏。ある野党幹部は「全国の自治体に、首相秘書官に会いたければ会ってくれるそうですよって呼びかけたいね」と皮肉りました。公務員としての危機管理意識は大丈夫でしょうか。愛媛文書の誤解指摘するなら、現知事招致を

○寸評（星野記者） 午後の参院予算委員会では、愛媛県に加戸守行・前知事と委員との間で、加計学園の獣医学部新設をめぐる愛媛県文書の信用性について質疑が交わされました。首相官邸での面会時、柳瀬唯夫・首相秘書官（当時）が「首相案件」と述べたと県職員が記録した文書です。

自民党の塚田一郎氏は「総理の看板政策としての重要案件だ、という発言を仮に柳瀬さんがされた場合、『首相案件』という言葉に置き換わってメモが取られたと言うことはありうるか」との問いに対し、加戸氏は「その可能性は高い」と言い切りました。その上で「総理がさばくことになるといようなニュアンスのご発言を受け止めたのが、『首相案件』という言葉になったのかな」と、自身の見立てを披露しました。

愛媛県側が記録した文書に誤解があったのではないかという指摘ですが、直後の立憲民主党の蓮舫氏による質問に対し、当事者である柳瀬氏も「口頭説明用の個人の備忘録と言うことでしたが、それがあちこちに配られ、マスコミに出て、信用力が高まるというのはとても変な話だ。片方はメモをとって、片方がメモをとらなければ、メモをとった方が常にこうだと後で言えるのは、さすがにおかしい」と疑問符を付けました。

これにはすかさず蓮舫氏が、「さすがにおかしいのは、あなたの記録と記憶が全部ないことですよ。愛媛県の中村時広知事は職員が文章をいじる必要性は全くないと会見で言っている。愛媛県がウソを書いているのですか」と一喝。柳瀬氏は「私が申し上げているのは、私が記憶がないということをお願いして、愛媛県がどうかということをお願いしているつもりは毛頭ございません」と慌てて否定しました。



衆院予算委で、自民党の

後藤茂之氏の質問に対する、政府の国家戦略特区ワーキンググループの八田達夫座長(左上)の答弁時間が長いため、委員長席に詰め寄る与野党の理事ら＝10日午前9時42分、岩下毅撮影

加戸氏の参考人招致は与党側の要求で実現しました。今治市が特区に選定された時の愛媛知事は現職の中村時広氏です。当事者の一人である中村知事が、県職員が国会に招致された場合は自らが応じる考えを示しているにもかかわらず、なぜ与党側はわざわざ前知事と呼んだのか。加戸氏や柳瀬氏が愛媛県側の文書に誤解があるというのであれば、中村知事を国会招致してその認識を問う必要があると思います。

参院の参考人招致終わる 野党は引き続き追及へ(15:25)

加計学園の獣医学部新設をめぐり、柳瀬唯夫・元首相秘書官らを参考人招致した参院予算委員会は午後3時25分、散会した。柳瀬氏は2015年に学園側と首相官邸で3回にわたり面会したと明かした一方、「優遇したことはない」と繰り返した。

野党は「加計ありき」で計画が進められたのではないかと柳瀬氏を追及したが、柳瀬氏は全面的に否定。首相の指示も認めなかった。野党議員たちは安倍晋三首相の友人である加計孝太郎・加計学園理事長の証人喚問を要求。愛媛県の文書に柳瀬氏が「首相案件」と述べたと記されていることから、中村時広知事ら愛媛県関係者の参考人招致を求める意見も出た。



報道陣の取材に応じる安倍晋三首相＝2018年5月10日午前11時13分、首相官邸、関田航撮影

14日には安倍晋三首相が出席する衆参予算委員会の集中審議が開かれる見通し。この日の質疑を踏まえ、野党は首相への追及を強める構えだ。

恩恵を受ける側の正当性主張、客観性に乏しい

○寸評(星野記者) 愛媛県の加戸守行・前知事は、今治市への獣医学部誘致の旗振り役でした。今治市商工会議所の特別顧問として2016年9月、国家戦略特区に関する分科会のヒアリングで獣医学部の必要性について訴えたほか、昨年の国会答弁では「愛媛県にとっては加計ありきで来た」と述べていました。

今年4月、岡山理科大学獣医学部の入学式では「岩盤規制を突破して(新設が)認められた。そんな意味では、魔法にかけられることで出産した獣医学部。昔から難産の子は立派に育つと言われる」とあいさつし、加計学園による獣

医学部新設の正当性を主張しました。

きょうの質疑では、自民党の塚田一郎参院議員が、この「魔法」発言の意味を尋ねました。すると加戸氏はこんなふうに答えました。「四角の帽子とマントを着せられたものですから、(映画)『ハリー・ポッター』の魔法の学校に出ているような気がして、連想で魔法という言葉を思いついた。(特区ワーキンググループの議事録で見た)民間委員の魔法の発言で、やっと困難な道が開いて今日につながったという意味だった」。改めて、獣医学部誘致の正当性を主張した形です。

確認しますが、今回の焦点は国家戦略特区の事業者選定が正当なプロセスで行われたか、にあります。加戸氏はワーキンググループの委員でも諮問会議の議員でもなく、特区を選定する立場にもなく、あくまでも「選定される」側。選定する側の人間から特別に教えてもらわない限り、そのプロセスを詳しく知ったり証言したりすることはできません。

また、規制緩和の恩恵を受ける立場の人が正当性を主張するのは当然です。午前中の八田氏と同様、与党が参考人として人選した加戸氏ですが、その証言は客観性に乏しいと言わざるを得ないのではないのでしょうか。

蓮舫氏、柳瀬氏に「あなたの記憶は自在になくし、思い出すのか」(13:55)

加計学園問題をめぐる参院予算委員会で、立憲民主党の蓮舫氏が柳瀬唯夫・元首相秘書官に鋭く切り込んだ。蓮舫氏は冒頭、「あなたの記憶は自在になくしたり思い出したりするものなのですか」と挑発。柳瀬氏が「私が記憶を調整していることは全くない。一貫して今治市や愛媛県の方とお会いした記憶はないし、加計学園やその関係者とお会いした記憶はある」とぶぜんとした表情で反論。すると、蓮舫氏は「違う」と一喝した。



参院予算委で柳瀬唯夫・元首相秘書官に質問する立憲民主党の蓮舫氏(手前)＝2018年5月10日午後1時54分、国会内、池田良撮影

昨年7月、柳瀬氏は国会質疑で今治市職員と面会したかを問われた際、「記憶にない」と繰り返した。学園関係者との面会についても、朝日新聞の取材に「記憶にない」と答えていた。蓮舫氏の指摘の通り、「一貫」はしていない。

蓮舫氏は「(国会で)聞かれていないから言っていないというだけだ。不誠実ではないか」と断じられ、柳瀬氏は「一つひとつに答え、結果的に全体像が見えにくくなった。国会の議論を混乱させ、深くおわび申し上げたい」と陳謝せ

ざるを得なくなった。

加戸前知事「柳瀬氏会合でのアドバイス、認可につながり感謝」（13：30）

愛媛県の加戸守行・前知事は参院予算委員会で、同県今治市への獣医学部新設をめぐる2015年4月2日の柳瀬唯夫・元首相秘書官と加計学園関係者らとの面会について、「この会合でアドバイスをいただいたことが獣医学部の認可に結果的につながった点で、私は感謝申し上げたい」と述べた。自民党の塚田一郎氏への答弁。



参院予算委で、自民党の塚

田一郎氏の質問に答弁する加戸守行・前愛媛県知事＝10日午後1時25分、岩下毅撮影

面会には同県職員も同席し、柳瀬氏が「首相案件」と述べたとする文書を県が作成した。柳瀬氏自身はこの発言を否定しており、塚田氏がこの食い違いについて尋ねたところ、加戸氏は「総理がさばくというニュアンスの発言を受け止め、『首相案件』という言葉になったのではないか」との見方を示した。ただ、加戸氏は面会前の10年に知事を引退している。

首相と加計理事長は親友と認識 一方で報告はせず(13：15)

柳瀬唯夫・元首相秘書官は参院予算委員会で、獣医学部新設をめぐる加計学園関係者との首相官邸での面会について、「優遇してくれとかいう話はないし、そんなことを(自分が)したこともない」と述べた。自民党の塚田一郎氏への答弁。

柳瀬氏は「私は役人の机上の空論にならないよう、外の人と会うように努めてきた。その一環として加計学園からお話を伺った」と釈明。安倍晋三首相と学園理事長が親友だと認識はあったとした上で、自らの面会について「総理に報告し、指示を受けたことはない」と述べた。

加計学園側の発言、議事録から消えたのは不自然

○寸評(星野記者) 八田達夫・国家戦略特区ワーキンググループ(WG)座長の答弁については、もう一つ疑問があります。

柳瀬唯夫・元首相秘書官が加計学園関係者と面会した約2カ月後の2015年6月5日、八田氏が座長を務めるWGによるヒアリングが行われました。内閣府が発表した議事要旨や議事録によると、ヒアリングに参加したのは今治市や愛媛県の担当者のみとなっていますが、実は加計学園関係者が出席しており、教員確保の見通しなどについて発言していたことも明らかになっています。

加計学園関係者の同席について、八田氏は「説明補助者」と位置づけ、「説明補助者は参加者と扱っておらず、説明補助者名を議事要旨に記載したり、公式な発言を認めたりしたことはない」と説明しています。

柳瀬氏はきょう午前の質疑で、加計学園関係者と会ったことを認める一方、愛媛県や今治市の職員については「同席していたかも」とあいまいに。しかしWGによるヒアリングの議事要旨や議事録には愛媛県の発言だけが残り、加計学園の発言が消えているのです。今治市は一言も発していないことになっています。事業を提案した関係者が現れたり消えたり。どこか不自然な印象が残ります。

WGの運用は誰がどのような権限で決めたのでしょうか。内閣府は、八田氏が座長権限で決めたと説明しているのですが、それでは八田氏の一言で恣意(しい)的に運用することも可能になってしまいます。加えて、諮問会議やWGの民間議員、委員らの起用過程や理由も明らかにされていません。このような運用で特区選定の公平性と透明性は十分に確保できるのでしょうか。

午後の参院予算委スタート 蓮舫氏らが質問へ(13：00)

加計学園問題をめぐり柳瀬唯夫・元首相秘書官らを参考人招致する参院予算委員会は午後1時、開会した。獣医学部誘致を推進してきた加戸守行・前愛媛県知事も与党の要求で招致されたが、野党側は柳瀬氏に絞って追及する。

午前の衆院予算委の質疑で柳瀬氏は「首相案件」と述べたことを否定しつつ、学園側と首相官邸で3回にわたり面会していたことを認めた。野党は「加計ありき」で計画が進んでいたとみて、柳瀬氏を問いただす構えだ。

1時半ごろ、民進党で疑惑解明を担ってきた国民民主党の川合孝典氏が質問に立つ。1時50分から立憲民主党の蓮舫氏、2時55分からは社民党の福島瑞穂氏と、厳しい追及を持ち味とする女性弁士2人も登場する予定。

柳瀬氏、加計幹部との面会時「全くメモ取ってない」

○寸評(星野記者) 柳瀬唯夫・元首相秘書官(現経済産業審議官)は午前の衆院予算委員会で、加計学園の獣医学部新設をめぐる、2015年4月2日に加計学園幹部らと面会した際、「全くメモを取っていません」と述べました。立憲民主党の長妻昭氏への答弁。

また、自民党の後藤茂之氏から「名刺交換したのか」と問われると、「多くの方とお会いするために交換した名刺の中で保存するのは、まあ、ごく一部でございます」と答弁しました。

一般の社会では大事な商談の場合、メモを取ることもあろうと思います。いただいた名刺は、いつまた連絡を取る必要が生じるのかわからないので、しばらく保存している方も多いと思います。

柳瀬氏は首相の代理を務めることもある「首相秘書官」です。メモを取らずにいて、首相に正確な報告ができなか

った場合には国益を損なうことにもなりかねません。「普段から失礼にならないように、自分から名を名乗って名刺交換するように心がけています」と話していましたが、それほどこまやかな心遣いをする方が、相手を選んで名刺をふるいにかけるようなことをするのでしょうか。

橋本龍太郎首相の秘書官を務めた経験がある江田憲司衆院議員（無所属）は、質疑を終えた後、記者団に対し「総理に累が及ばないように、一切指示もなければ報告もしなかったという答弁だったが、全く首相秘書官の仕事の常識に反する」と指摘。「首相秘書官は奥の院の黒衣。側近中の側近で一心同体だ。黒衣は普通、外部の人と会わない」と自らの経験を交えて述べました。秘書官の先輩として、柳瀬氏の説明が秘書官の振る舞いにそぐわないとの認識を示しましたが、柳瀬氏の答弁が変わることはありませんでした。

共産・志位氏「柳瀬氏の行為自体が『首相案件』（12：00）

共産党の志位和夫委員長は記者会見で、加計学園の獣医学部新設をめぐる柳瀬唯夫・元首相秘書官が首相官邸で学園側との3回にわたる面会を認めたことについて、「柳瀬氏は『首相案件』と言ったことは認めなかったが、行為自体は『首相案件』として取り扱われ、『加計ありき』だったと示された」と指摘した。

志位氏は「総理の分身である秘書官が3回も（安倍晋三首相に）一切指示も仰がず、報告もしないことはありえない」と強調。「柳瀬氏は証人（喚問）で国会に来ていただく必要がある。加計、愛媛県の関係者も来ていただき、真相を究明する必要がある」と述べた。

石破氏「疑問が完全に払拭されたとは思わない」（11：25）

加計学園の獣医学部新設について質疑が交わされた衆院予算委員会が終わり、自民党の石破茂元幹事長は「加計学園だけが特別扱いされたのではないのかという疑問が完全に払拭（ふっしょく）されたかという、あまりそういう思いはしなかった」と記者団に述べた。

委員の一人として与党席でやりとりを聞いた石破氏は「疑念を完全に払拭することは（安倍晋三）総理の指示であったわけだから、なかなかその目的は完全には達せられなかったのではないか」とも述べた。

石破氏はその後、自らの派閥の会合で「世の中の感覚からすると、『ホントかな』と思われるようなやりとりもあった」とも指摘した。

安倍首相「柳瀬氏は誠実に答え、全てを明らかにしてもらいたい」（11：15）

安倍晋三首相は午前11時15分、加計学園の獣医学部新設をめぐる衆院予算委員会の質疑について「予算委員会については私は見てはいないが、柳瀬（唯夫）元秘書官は誠実に答え、全てを明らかにしてもらいたいと思う」と述

べた。トランプ米大統領との電話協議を受けて首相官邸で記者団の質問に応じた際、答えた。

首相は「獣医学部の問題は国家戦略特区の民間議員のみなさんが『一点の曇りもない』と言っている。『曇りもない』と既に私も言っている」とも述べ、手続きに問題ないとの認識を重ねて強調した。

問題の時期は「決定のプロセス」前 八田氏は当事者なのか

○寸評（星野記者） 政府の国家戦略特区ワーキンググループ（WG）座長の八田達夫氏は今日の答弁で、国家戦略特区について「各省庁や業界の権益と結びついた規制の改革を目的としている」とし、岩盤規制を突破するとの姿勢を強調することで、獣医学部新設の正当性を主張しました。

ただ、いま問題になっているのは獣医学部新設の是非ではありません。その規制改革を行う事業者選定の手続きがゆがめられていなかったか、が焦点です。

八田氏はその事業者選定の経緯について、これまでの国会答弁では一貫して「決定のプロセスには一点の曇りもない」と強く主張してきました。ここはよく考えてみないといけません。問題になっている2015年4月2日の加計学園幹部による首相官邸訪問というのは、今治市や愛媛県が国家戦略特区に正式に手をあげる約2カ月前になります。WGや諮問会議など「決定のプロセス」に乗せる前の話です。つまり八田氏はこの時点では直接の当事者とは言えず、面会の正当性を評価できる立場ではないのではないのでしょうか。

衆院の参考人招致終わる 午後は参院（11：21）

加計学園の獣医学部新設をめぐる柳瀬唯夫・元首相秘書官らを参考人招致した衆院予算委員会は午前11時21分、散会した。

柳瀬氏は2015年4月の学園幹部との首相官邸での面会を初めて認めた。愛媛県や今治市の職員の同席は「いたのかもしれない」と述べるにとどめた。面会で「首相案件」と述べたかについては「獣医学部新設の解禁は、総理が早急に検討していくと述べている案件である、という趣旨は紹介したように思う」と説明。野党議員は「加計ありき」で計画が進んできた可能性を追及した。

午後1時から参院予算委でも柳瀬氏らの参考人招致が始まる。

柳瀬氏、朝日新聞の昨年8月の取材「よく覚えていない」（11：00）

柳瀬唯夫・元首相秘書官は衆院予算委員会で、昨年8月の朝日新聞の取材に対し、加計学園幹部との面会を「記憶にない」と答えていたことについて、「よく覚えていない」と釈明した。朝日新聞はこのコメントを紙面で報じた。柳瀬氏は「（取材は）歩きながらで、向こうの話もよく聞き取れなかった」と述べ、「国会で話した枠で話すのが筋だと思った」と当時の思いを説明した。共産党の宮本岳志氏への

答弁。



衆院予算委で質問する共産党の宮本岳志氏＝10日午前11時4分、岩下毅撮影

野党は柳瀬氏の面会の事実を認めるよう政府・与党に迫ってきた。宮本氏に「なぜ放置したのか」と問い詰められ、柳瀬氏は「国会で呼ばれれば説明しようと思った」と述べた。

国民民主・今井氏「最初からシナリオできてるな」（10：48）

国民民主党の今井雅人氏は、柳瀬唯夫・元首相秘書官への質問を終えた後、国会内で記者団に「差し障りのないところは認めて、（安倍晋三）総理が関与していると思われるようなところに関しては記憶がないとか言ってごまかしている。最初からそういうシナリオできてるな、と感じた」と述べた。



衆院予算委で、柳瀬唯夫・

元首相秘書官に質問する国民民主党の今井雅人氏＝2018年5月10日午前10時33分、国会内、関田航撮影

柳瀬氏は、加計学園側と首相官邸で3回にわたり面会したことを認めたが、「事業の主体は加計学園なんです。今治市はついていっているだけ。これはもう加計学園ありきと思わざるを得ないと、ますます確信を深めた」と述べ、加計孝太郎理事長の国会招致を要求するなど、引き続き問題を追及していく姿勢を強調した。

八田氏の答弁、朝日新聞のインタビューと食い違い



衆院予算委で、質問時間

が終わっても資料を読み続ける国家戦略特区ワーキンググループの八田達夫座長（右）＝2018年5月10日午前9時41分、国会内、関田航撮影

○寸評（星野記者） 与党の質問に対して答弁した八田（は

った）達夫氏は、政府の国家戦略特区のワーキンググループ（WG）座長を務めています。WGは民間人から選ばれた委員で構成され、具体的な提案について特区にふさわしいかどうかを最初に検証、判断する機関です。その結果が各区域ごとの「国家戦略特別区域会議」や、首相が議長を務める「国家戦略特区諮問会議」などの上部組織に持ち込まれ、最終決定されます。提案者がプレゼンテーションできる場でもあり、特区認定の最初の関門にして、詳細な検討が行われる数少ない場です。

さて、そのトップである八田氏は、手元に用意した文章を長々と読み上げたため、自民党議員との質問時間5分の中でやりとりは1回しかありませんでした。ヤジも飛ぶ中、声が震え、聞き取りにくいところもあった答弁では、「総理からも、また秘書官からも何の働きかけも受けたことはありません」と述べました。

また、八田氏は獣医学部新設を一校に限定した理由について、「（日本）獣医師会が政治家に圧力をかけて、何も通らないよりは1校でも通ればやむを得ないだろうという判断」と説明しました。朝日新聞が昨年3月、八田氏にインタビューした際は「両方とも推したら、具体的に京都とここ（愛媛県今治市）だけでも、今の政治的状况ではぼしゃるかもしれんという風な判断を聞いて……」と説明していました。「両方とも推したらぼしゃる」という判断を誰から聞いたのか尋ねると、八田氏は同席していた内閣府の藤原豊審議官（当時）を指して「彼から聞いた」と答え、藤原氏は「政府内での議論です」と応じました。当時のインタビューでの八田氏の発言と、今日の国会答弁には食い違いがみられます。

江田氏、後輩柳瀬氏に「あなたは1年生の時、青雲の志持っていた」（10：40）



衆院予算委で、江田憲司

氏の質問に答える柳瀬唯夫・元首相秘書官（右）＝2018年5月10日午前10時43分、国会内、関田航撮影

「柳瀬さん、ごぶさたしています。あなたが1年生で入ってきた時、青雲の志を持っていた」――。衆院予算委員会で、旧通産省（現経産省）出身の江田憲司氏（無所属）が「後輩」の柳瀬唯夫・元首相秘書官（現経済産業審議官）をたしなめる一幕があった。

江田氏が「国民の利益を考えて答弁してください」と呼びかけると、柳瀬氏は首を数回縦に振って応じた。だが、江田氏が自らの役人経験を踏まえて「許認可や補助金の対象となる事業者（加計学園側）と会うのがいかに異例か。

その常識を覆して会ったのは、首相や首相秘書官の指示があったとしか考えられない」と断じたのに対し、柳瀬氏は「指示はまったくない」と努めて短く反論した。

加計側との面会について「総理には報告していない」と繰り返す柳瀬氏に対し、江田氏は「口にばんそうこうでも貼らない限り（ないこと）」とあきれたように応じた。

「国会のやりとり承知せず」柳瀬氏発言に、野党ヤジ（10：20）

柳瀬唯夫・元首相秘書官（現経済産業審議官）は衆院予算委員会で、加計学園の獣医学部新設をめぐる2015年4月の学園側との面会をこの日まで認めてこなかった自らの対応について、「国会のやりとりは承知していなかった」と述べた。昨年来、面会の事実確認を政府・与党側に求め続けてきた野党議員たちからは一斉にヤジが飛んだ。

国民民主党の今井雅人氏が「なぜ『会っていた』と政府に説明しなかったのか」と質問。柳瀬氏は昨年7月に面会を否定した自らの国会答弁について「（加計学園ではなく）今治市職員と会ったかを聞かれ、記憶にないと答えた」と強調した。その後、野党は事実解明のため、学園関係者と面会したかどうかの確認を求めてきたが、柳瀬氏は「国会から答弁するようにという要請はいただかなかった」と述べた。（斉藤太郎）

秘書官の仕事「首相の目や耳」だが…面会報告否定

○寸評（星野記者）柳瀬唯夫・現経済産業審議官は、加計学園幹部が官邸を訪れたとされる2015年4月2日当時、首相秘書官を務めていました。昨年7月の衆院予算委員会では「今治市の方にお会いしたという記憶はございません」と答弁。加計学園幹部が同席していたかどうかについても翌8月、朝日新聞の取材に「記憶にない」と答えていました。

きょうの衆院予算委では一転、加計学園幹部との面会を認めた形です。今年4月に明らかになった愛媛県文書に「首相案件」と発言したと記されたことについては、「そもそも私は首相という言葉を使わないので違和感がある。違う形で伝わったのではないか」と述べ、首相からの指示を否定しました。

では、なぜ、なんのために加計学園幹部と官邸で面会したのでしょうか。柳瀬氏は「政府の外の方からのアポイントの申し入れに対しては、時間が許す限り、お受けするように心がけておりました」と説明しましたが、国家戦略特区関係の事業者で面会したのは加計学園だけだったことがわかりました。

そもそも一私学関係者と首相秘書官が官邸で面会することは異例なことです。しかも相手は特区制度を利用した獣医学部新設を目指す利害関係者でもあります。さらに、今治市と愛媛県が国家戦略特区に正式に手を上げる約2カ月前というタイミングです。

首相秘書官は、首相の目や耳、手や足となって、多忙極

まる首相の執務を補佐するのが役目です。仮に首相の指示がなかったとしても、面会の事実を伝えるのも大事な仕事のはず。安倍晋三首相はこの面会のわずか5日後の4月7日、都内ホテルで加計学園の加計孝太郎理事長が主催する花見の会への出席が予定されていました。ましてや首相の40年来の親友が理事長を務める学園が相手。柳瀬氏はきょうの答弁で首相への報告を否定しましたが、これでは秘書官の仕事を全うしたとは言えません。「（首相に）全く報告していない」という説明には違和感を覚えます。

また、きょうの質疑ではもう一つ大きな疑問が生じました。今治市が市民の情報開示請求に応じて公開した公文書で、今治市職員は面会前日の4月1日になって急きょ予定が変更し、官邸訪問の日程が追加されたことがわかっています。柳瀬氏は「加計学園側から事前に面会の申し入れがあった」と説明しましたが、同行予定の今治市には誰も事前に連絡をしなかったのでしょうか。

野党側の追及でどこまで真相に迫れるか。今後の質疑からも目が離せません。（星野典久）

柳瀬氏、加計学園側との面会「官邸で3回、覚えている」バーベキューも（09：50）

柳瀬唯夫・元首相秘書官（現経済産業審議官）は衆院予算委員会で、加計学園の獣医学部新設をめぐり、2015年4月のほか、その前と後の計3回、加計学園側と首相官邸で面会したことを認めた。「官邸で会った3回は覚えている。それ以外は覚えていない」と述べた。立憲民主党の長妻昭氏への答弁。



衆院予算委で、柳瀬唯夫・元首相秘書官に質問する立憲民主党の長妻昭氏＝2018年5月10日午前9時47分、国会内、関田航撮影

さらに柳瀬氏は、官邸以外で会ったことはあるかと聞かれると、安倍晋三首相が自らの別荘に友人らを招いたバーベキューの際に加計学園の理事長と事務局長に会ったことも認めた。「それ以外に会ったかどうかは覚えていない」と答弁した。

「ゴルフを一緒にしたか」と聞かれた柳瀬氏は、「総理がやっておられるパーティーの後ろのほうで、秘書官たちについていった」。かかった費用については「総理側のご負担だと理解している」とも述べた。

また、柳瀬氏は「私の（関係者との面会を否定した過去の）答弁をきっかけに（国会審議に）迷惑をおかけし、与野党におわび申し上げたい」と陳謝した。

野党の質問始まる 審議拒否から「疑惑解明」に転換（09：47）

加計学園問題をめぐり衆院予算委員会での柳瀬唯夫・元首相秘書官の参考人招致は午前9時47分、野党議員による質問時間に移った。大型連休明けに国会での審議拒否術を解除し、論戦による政権追及に転じた野党にとって、この質疑が「疑惑解明月間」（立憲民主党の辻元清美・国会対策委員長）の幕開けとなる。自民、公明両党の質疑に比べ、厳しいやりとりが展開されそうだ。

野党のトップバッターはちみつな追及に定評がある立憲の長妻昭氏。橋本内閣で首相秘書官を務めた無所属の江田憲司氏、加計問題をフィールドワークにしてきた国民民主党の今井雅人氏や共産党の宮本岳志氏のほか、日本維新の会の井上英孝氏が質問に立つ。

八田氏「総理からも秘書官からも働きかけない」（09:40）

政府の国家戦略特区ワーキンググループの八田達夫座長は衆院予算委員会で、加計学園の獣医学部新設の特区認定について「（安倍晋三）総理からも（当時の柳瀬唯夫首相）秘書官からも何の働きかけも受けたことはない。獣医学部新設は岩盤規制の中でも最重要案件と考えていた」と述べた。自民党の後藤茂之氏への答弁。

八田氏は緊張からかペーパーを声を震わせながら読み上げ、後藤氏の質問の持ち時間が迫っても答弁を続けた。河村建夫・予算委員長（自民）に答弁を終えるよう指示され、早口で特区認定に関する首相による特別な関与を否定した。柳瀬氏、首相案件「違う形で伝わったのでは」（09:17）

柳瀬唯夫・元首相秘書官（現経済産業審議官）は衆院予算委員会で、加計学園の獣医学部新設をめぐり自らが学園幹部や愛媛県職員らに「首相案件」と発言したとされる愛媛県の文書について、「そもそも私は首相という言葉を使わないので違和感がある。違う形で伝わったのではないかと」否定した。自民党の後藤茂之氏への答弁。



衆院予算委で柳瀬唯夫・元首相秘書官に質問する自民党の後藤茂之氏＝2018年5月

10日午前9時、国会内、関田航撮影

柳瀬氏は学園幹部らとの面会について「（安倍晋三）総理に報告したこともない。話が出た覚えもない」と強調。民間有識者から獣医学部新設の解禁について提案があったことを踏まえ、「解禁は総理が『早急に検討』と述べている案件として（面会で）伝えた」と説明した。

柳瀬氏、加計学園と面会「愛媛県や今治の方 記録ない」（09:03）

柳瀬唯夫・元首相秘書官（現経済産業審議官）は衆院予

算委員会で、加計学園の獣医学部新設をめぐり、2015年4月に首相官邸で学園幹部と面会したことを認めた。愛媛県や今治市の職員の同席については「10人近くの随行者の中にいたかもしれない」と述べた。柳瀬氏はこれまで、面会自体を「記憶にない」と否定してきた。自民党の後藤茂之氏への答弁。

柳瀬氏は「加計学園事務局から面会の申し入れがあった。おそらく4月2日だと思うが面会し、獣医学教育に関し国家戦略特区制度の活用を検討しているという話があった」と答弁。「随行の中に愛媛県、今治市の方がいたのかの記録は残っていない」と述べた。

柳瀬氏らの参考人招致、衆院予算委員会でスタート（09:00）



衆院予算委で参考人招致

のため、国会へ入る柳瀬唯夫・元首相秘書官（中央）＝2018年5月10日午前8時21分、国会内、池田良撮影

加計学園の獣医学部新設をめぐり、「首相案件」と当事者らに伝えた愛媛県の文書に記されている柳瀬唯夫・元首相秘書官らを参考人招致する衆院予算委員会が午前9時、始まった。文書は2015年、愛媛県と今治市の職員、加計学園幹部らが首相官邸で柳瀬氏に面会した際に県が作成した記録。柳瀬氏が文書の内容をどこまで認めるかが焦点となる。

与党幹部によると、柳瀬氏は県市職員との面会を「記憶にない」と従来の主張を維持しつつ、学園側との面会については認める意向とされる。野党はうそをついた場合に偽証罪に問える証人喚問を要求してきたが、柳瀬氏の軌道修正を糸口に追及を強められると判断、与党が提案する参考人招致に応じた。

柳瀬氏のほか、衆院で八田達夫・国家戦略特区ワーキンググループ座長、午後の参院予算委では加戸守行・前愛媛県知事が参考人招致される。2人はともに獣医学部新設の正当性を主張しており、与党が招致を要求した。

衆院は午前11時15分まで、参院は午後1時から3時15分までの予定。

柳瀬氏、自宅出る 問いかけに無言（06:40）

学校法人「加計学園」の獣医学部新設をめぐり、国会に参考人として招致される柳瀬唯夫・元首相秘書官（現経済産業審議官）は10日午前6時40分、東京都杉並区の自宅を出た。

報道陣からの「愛媛県関係者との面会は認められるんですか」「いまの気持ちは」との問いかけには答えず、無言の

まま車に乗り込んだ。

岡山・加計学園 獣医学部新設問題 参考人招致 質疑 詳報

毎日新聞 2018年5月11日 東京朝刊

衆院予算委 柳瀬氏

後藤茂之氏（自民党） 2015年4月2日に愛媛県、同県今治市、加計学園の関係者と会っていないか。

柳瀬唯夫元首相秘書官 加計学園の事務局から面会の申し入れがあり、学園関係者と面会した。相手は10人近くで、同行した元東京大教授が獣医学教育に関する話をとうとうとした。随行者に愛媛県や今治市の職員がいたかどうか私は今でも分からないが、いたのかもしれないと思う。

後藤氏 なぜ加計学園関係者と知り合ったのか。

柳瀬氏 以前、安倍晋三首相と一緒に学園関係者と会った。その後、15年2月か3月ごろ、学園事務局の人と首相官邸で会った。4月2日の面会後も学園の人が官邸に来て、今治市が正式に国家戦略特区の提案をすることになったと話した。

後藤氏 加計学園ありきでプロセスが進んだのではないか。

柳瀬氏 私は15年8月に首相秘書官を離れた。獣医学部新設の制度が決まったのは16年11月。具体的な事業者の選定は17年に始まった。私が具体的な地点や事業者の選定に関与する余地はなかった。

後藤氏 加計学園理事長と首相の関係をどう認識していたか。

柳瀬氏 友人関係と認識していたが、特別扱ったことはない。

後藤氏 愛媛県の文書には柳瀬氏が本件を「首相案件」と発言したと記載されている。

柳瀬氏 「獣医学部新設の解禁は、総理が早急に検討していくと述べている案件だ」と紹介した。しかし、今治市の個別プロジェクトが首相案件になるとは言わない。私は普段から「首相」という言葉は使わないので、やや違和感がある。愛媛県職員の文書は、私が伝えたかった趣旨とは違う形で伝わった気がする。

後藤氏 加計学園との面会について首相に報告したり、何らかの指示を受けたりしたことはあるか。

柳瀬氏 首相に報告したことも指示を受けたこともない。

竹内譲氏（公明党） 15年4月に会った元東京大教授は、岡山理科大獣医学部長の吉川泰弘氏か。

柳瀬氏 当時は加計学園との関係はよく分からなかった。獣医学部長になるという話があるはずもない。

竹内氏 後任の首相秘書官に加計学園の件を引き継いだか。

柳瀬氏 引き継いでいない。

長妻昭氏（立憲民主党） 首相官邸以外で、加計孝太郎

理事長を含めて加計学園関係者と会ったのは何回か。

柳瀬氏 ゴールデンウイークに首相の河口湖の別荘でバーベキューをしたときに理事長や事務局の人がいた。

長妻氏 13年5月のことだと思うが、ゴルフはしたか。

柳瀬氏 首相が友人と回り、その後の組で秘書官たちがついていった。

長妻氏 代金はだれが支払ったか。

柳瀬氏 私自身が支払ったことはない。私には分からない。

長妻氏 理事長が首相の親友でなければ官邸で会わなかったか。

柳瀬氏 首相秘書官は本当に外の話が聞けなくなるので、アポイントがあれば時間が許す限りだれとでも会うようにしていた。

長妻氏 国家戦略特区に提案したほかの事業者と官邸で会ったことはあるか。

柳瀬氏 ない。

長妻氏 加計学園の獣医学部新設計画を知ったのはいつか。

柳瀬氏 加計学園が15年2月か3月に官邸に来たときに獣医学部の話をした。当時は構造改革特区として今治市が申請していた。

長妻氏 首相が知ったのは17年1月20日だという。2年近くも空白期間がある。首相に報告しなかったのか。

柳瀬氏 私は15年8月4日に首相秘書官を退任した。首相がどこでどう認識されたかはちょっと分からない。

長妻氏 15年4月の面会には文科省と農林水産省から出向した内閣参事官が同席した。

柳瀬氏 獣医学部新設に詳しくなかったので同席をお願いした。

長妻氏 メモを出してほしい。

柳瀬氏 私はメモをとっていない。参事官2人がメモをとったかどうかは分からない。

今井雅人氏（国民民主党） 15年4月の面会后、加計学園関係者がもう一度、首相官邸に来たのはいつか。

柳瀬氏 今治市が国家戦略特区の提案を出したのは15年6月4日か5日なので、その前後だったと思う。今治市職員が同席したかどうかは記憶にない。

今井氏 今井尚哉首相秘書官にこの話をしたことはあるか。

柳瀬氏 昨年、私が今治市と面会したという報道があり、今井氏から事実関係の問い合わせがあった。記憶はないと回答した。

今井氏 加計学園関係者と会った当時、今井氏に伝えたことはないか。

柳瀬氏 政務の首相秘書官といちいちこんな話はしない。

江田憲司氏（無所属の会） 首相の指示がないのに加計学園関係者と3回も会っている。なぜそんなサービスをし

たのか。

柳瀬氏 アポイントは基本的に受ける。

江田氏 首相秘書官と首相は一心同体だ。民間の人に会う、会わないの基準は何か。

柳瀬氏 よほどの反社会的勢力は別にして、できるだけ会う。

江田氏 首相は15年4月7日に加計氏と会っている。「数日前に加計学園のみなさんと意見交換した」と耳打ちするのは首相秘書官の職責ではないか。

柳瀬氏 首相にお話をしたことはない。

宮本岳志氏（共産党） 3回目の面会は、国家戦略特区の申請の報告に来たという。申請は今治市がするものなのに、なぜ加計学園が来るのか。

柳瀬氏 今治市と加計学園は連携してやっていたらから、学園も知っていたのではないか。

井上英孝氏（日本維新の会） 京都産業大が名乗りを上げたときには首相秘書官ではなかった。在任中なら会っていたか。

柳瀬氏 もちろん時間があれば会いたい。

衆院予算委 八田氏

竹内氏 獣医師養成系大学は新潟、京都からも提案された。京都産業大の提案をどう感じたか。

八田達夫・国家戦略特区ワーキンググループ座長 日本獣医師会の圧力で新設は1校と制限がついた。何回も提案し熟度の高い今治と京都を比べ、今治になった。京都もぜひ実現してほしい。柳瀬氏と加計学園関係者の15年4月の面会は獣医学部新設に影響していない。

参院予算委 柳瀬氏

塚田一郎氏（自民党） 愛媛県の文書では、15年4月の面会時に加計学園から、当時の下村博文文科相が「加計学園はけしからん」と言っていると紹介があったという。事実か。

柳瀬唯夫氏 このような話が出た覚えはない。

塚田氏 愛媛県文書との食い違いをどう思うか。

柳瀬氏 趣旨が私の理解とは違う。なぜかは分からない。

川合孝典氏（国民民主党） 「首相案件」ではなく「総理案件」「総理に関わる案件」と言ったか。

柳瀬氏 今治市の個別プロジェクトが「総理案件」という旨を言うとは思わない。

蓮舫氏（立憲民主党） 15年4月2日に首相官邸で首相と下村氏が会っている。加計学園との面会后、あなたは首相や下村氏に接触していないか。

柳瀬氏 下村氏と官邸で会った記憶は残っていない。首相とは1日に5回も10回も顔を合わせている。

秋野公造氏（公明党） 制度設計のために話を聞いただけなら、なぜ「会った記憶がない」と答弁する必要があったのか。

柳瀬氏 今治市の職員と会ったかと聞かれたので、記憶

がないと答えた。質問に一つ一つ答えた結果、全体が見えなくなって混乱を招き、国会審議に大変な迷惑をかけた。

田村智子氏（共産党） 獣医学部新設の検討を早急に進めるようにという首相の指示なのに、首相に何も言わなかったのか。

柳瀬氏 首相の指示は制度論であり、個別具体的にどうしろというものではなかったもので、個別の話を報告する必要はないと判断した。

片山大介氏（日本維新の会） 加計学園関係者と会ったときに、先方は首相との関係を示してきたか。

柳瀬氏 首相の話があった記憶はない。

福島瑞穂氏（社民党） 加計学園関係者と3回目に出会ったのはいつで、相手はだれか。

柳瀬氏 15年6月4日に国家戦略特区の提案が出ているので、その前後ではないか。来たのはおそらく事務局長だった。

薬師寺道代氏（無所属クラブ） 国家戦略特区で提案すると加計学園から相談があったときに「自治体が提案すべきなので、自治体の職員と一緒に来てほしい」とアドバイスすべきだったのでは？

柳瀬氏 民間事業者であれ自治体職員であれ、いろいろな話をうかがうのはおかしくない。

参院予算委 加戸氏

塚田氏 愛媛県文書と柳瀬氏の認識の相違はなぜか。

加戸守行前愛媛県知事 雰囲気は伝えていると思うが、職員には「せっかく東京まで出張したのだから、戦果があった（と報告したい）」ということがあるかもしれない。

秋野氏 首相や柳瀬氏から獣医学部新設に関して直接アプローチはあったか。

加戸氏 一切ない。ただ、15年4月の件よりも1年半ほど前、獣医学部を作りたいが岩盤規制に阻まれていると首相に話したことがある。そのときは今治とも加計とも言っていない。

10日の衆院予算委参考人招致の主な発言

日経新聞 2018/5/10 19:45

柳瀬唯夫元首相秘書官らに対する10日の衆院予算委員会参考人招致の主な発言は次の通り。

後藤茂之氏（自民） 加計学園関係者や愛媛県、今治市職員と会ったか。

柳瀬氏 国会審議に大変なご迷惑をお掛けし、誠に申し訳ございません。（2015年）4月2日だったと思うが、加計学園の方、その関係者の方と面会した。分からないが、10人近くの随行者の中に愛媛県職員や同県今治市職員がいたのかもしれない。

後藤氏 名刺交換しなかったのか。

柳瀬氏 私が保存している名刺の中に愛媛県や今治市の方の名刺はなかった。

後藤氏 面会の経緯は。

柳瀬氏 総理（安倍晋三首相）とご一緒した際に学園の関係者と会ったことがあり、その後、学園の事務局から面会の申し出があった。

後藤氏 首相と学園の加計孝太郎理事長の関係を認識していたか。

柳瀬氏 友人関係とは認識していたが、特別扱いたことではない。

後藤氏 会った際「首相案件」と発言したか。

柳瀬氏 獣医学部新設は、総理が「早急に検討していく」と述べている案件との趣旨は紹介したと思う。普段から「首相」との言葉は使わないので違和感がある。（柳瀬氏が「首相案件」と発言したとする）愛媛県文書の内容は、私の伝えたかった趣旨とは違う。

後藤氏 首相から指示を受けたか。

柳瀬氏 報告したことも、指示を受けたことも一切なかった。

後藤氏 選考過程は適切だったか。

八田達夫国家戦略特区ワーキンググループ座長 国家戦略特区は岩盤規制に穴をあけるための制度だ。総理、秘書官から働き掛けを受けたことはない。

竹内譲氏（公明）15年4月に会った加計学園関係者は、現在の岡山理科大獣医学部の吉川泰弘学部長で間違いないか。

柳瀬氏 吉川先生にお会いした。私が秘書官だった時は、先生と学園の関係は知らなかった。最近、学部長になると報道されて「あの時に会った人だ」と理解した。

竹内氏 首相に付度したか。

柳瀬氏 秘書官当時、獣医学部新設を具体的に、どの案件にするというのは関心の外で、当時の制度論が関心だった。

長妻昭氏（立憲民主）加計学園関係者と会ったのは何回か。

柳瀬氏 15年2～3月ごろと、4月に官邸で面会した。その後、国家戦略特区の提案をすると話に来られた。官邸で会った3回は覚えている。

長妻氏 官邸以外は。

柳瀬氏（13年5月に）総理の別荘でのバーベキューで（加計理事長と）会った。翌日のゴルフもついて行った。

長妻氏 加計の計画を知ったのはいつか。

柳瀬氏 15年2～3月の面会で、加計学園は獣医学部の新設を今治市と一緒にやろうと考えていると認識した。

長妻氏 15年4月の面会に、文部科学省と農林水産省から出向していた内閣参事官2人が同席したか。メモはあるか。

柳瀬氏 獣医学部新設の話に詳しくなく同席をお願いした。私はメモを取っていない。

今井雅人氏（国民民主）獣医学部新設を計画していた今

治市に対して、どのような説明をしていたのか。

柳瀬氏（加計学園関係者との面会では）閣議決定した特区の指定基準を説明した。閣議決定した基準であり、誰に対しても堂々と説明する。今治市の方が同席したかどうかは分からないが、何か問題があるとは全く思わない。

今井氏 3回目の面会はいつか。

柳瀬氏 今治市の特区提案が6月4とか、5日だったので、その前後だったと思う。

江田憲司氏（無所属の会）「加計ありき」で選定の手続きが進んだのではないか。他の事業者とは会っていないのか。

柳瀬氏 アポイント（約束）があったのが加計学園だった。国家戦略特区の関係で会った民間の方は加計学園だけだ。

宮本岳志氏（共産）加計関係者と面会した際、自治体の熱意が大事だと語ったようだが、愛媛県や今治市の職員が同席している認識はないのか。

柳瀬氏 国家戦略特区制度の特徴として、地域の独自性、先端性を前面に出すという趣旨を説明した。自治体であろうが事業者であろうが、公表されている基準を説明することに違和感はない。

井上英孝氏（維新）加計学園の獣医学部新設の選定過程で、公平性が担保されていない。

柳瀬氏（首相秘書官の任期を終えて）官邸を出た後の議論で「1校に限る」などとなったと思う。制度設計の議論に参加していないので、コメントのしようがない。

〔共同〕

10日の参院予算委参考人招致の主な発言

日経新聞 2018/5/10 21:30

柳瀬唯夫元首相秘書官らに対する10日の参院予算委員会参考人招致の主な発言は次の通り。

塚田一郎氏（自民）安倍晋三首相の指示なく面会することはあるか。

柳瀬氏 会うことはあったが、（個別案件を）いちいち総理に報告することはない。

塚田氏 愛媛県職員作成の面会の文書には、首相と加計学園の加計孝太郎理事長が会食し、当時の下村博文文部科学相の発言を巡る記述がある。

柳瀬氏 総理と加計学園の方との間で、獣医学部新設の話が出た覚えは全くない。

塚田氏 文書には国家戦略特区の記載もある。

柳瀬氏 事前に（内容の）確認を求められたことはない。詳細は覚えていないが、国家戦略特区制度は安倍政権の成長戦略の柱との趣旨で申し上げたかもしれない。

川合孝典氏（国民民主）首相秘書官時に、スケジュールの記録は取っていたか。

柳瀬氏 首相のスケジュールは記録していたが自分の分はしていない。

蓮舫氏（立憲民主）2015年4月の面会に、岡山理科大獣医学部の吉川泰弘学部長はいたか。

柳瀬氏 4月に吉川氏と会ったのか、その前の2～3月ごろだったか定かではない。

秋野公造氏（公明）加計学園関係者と会い、アドバイスしたと堂々と言っていけば良かった。

柳瀬氏 質問されたことだけに答えた結果、全体像が見えなくなり、混乱を招いた。

秋野氏 獣医学部新設に関し首相や柳瀬氏から何らかのアプローチがあったか。

加戸守行前愛媛県知事 一切なかった。ただ首相の前で獣医学部の件を切々と訴えたことはある。15年4月より1年半ほど前に「獣医学部の入学定員が増えないので、愛媛県が困っている」という発言を首相の前でした。愛媛県が獣医学部をつくりたいと、首相が認識したと思う。

田村智子氏（共産）愛媛県作成の文書には、国家戦略特区担当の藤原豊・内閣府地方創生推進室次長（当時）の発言として「要請の内容は総理官邸から聞いて（いる）」と書かれている。柳瀬氏が藤原氏に伝えたのか。

柳瀬氏 藤原氏が何と話したか存じ上げない。

田村氏 疑惑は深まっている。加計理事長らの証人喚問を求める。首相には何一つ報告しなかったのか。

柳瀬氏 総理には判断が必要なタイミングで（報告を）上げる。それが秘書官の業務だ。

片山大介氏（維新）加計学園関係者と、自分の判断だけで3回も会うのか。

柳瀬氏 いろいろな人に会うが、この人に会っていいかと首相に伺うことはない。

片山氏 面会の内容を首相には一回も報告しなかったのか。

柳瀬氏 具体的な案件について、首相に上げる必要を感じなかった。

福島瑞穂氏（社民）加計学園関係者と面会した記憶を、いつ取り戻したのか。

柳瀬氏 加計学園の方と会った記憶は一貫している。昨年の国会では、今治市の出張記録の関係で「市職員に会ったのか」と何度も聞かれたので「記憶にございません」と答えた。それは今でもない。

福島氏 加計学園関係者の名刺はあるか。

柳瀬氏 加計理事長の名刺は残っていた。

薬師寺道代氏（無所属クラブ）首相に国家戦略特区の制度設計を提言しなかったのか。

柳瀬氏（当時の石破茂地方創生担当相が主導した）「石破4条件」の考え方が事務局から上がってきた。問題がないと思い、内閣府による首相への報告を認めた。

〔共同〕

る」

NHK5月10日 11時35分



加計学園の獣医学部新設をめぐり、柳瀬元総理大臣秘書官は、衆議院予算委員会での参考人質疑で、愛媛県の担当者が記したとする文書のとおり、3年前に総理大臣官邸で、学園の関係者と面会したことを認めました。主な発言です。特区関連のアポイントはこの件だけだった（11：05）



柳瀬元総理大臣秘書官は「国家戦略特区の事業者と面会したのは加計学園だけではないのか」と問われたのに対し、「秘書官としてアポイントがあれば広く会うことにしているので、実際に特区の関係なのかどうかは事後的にわかることだが、特区にかかわった中でアポイントの申し入れがあったのはこの件だけだったのでそういうことになった」と述べました。

今井秘書官には去年学園関係者との面会を報告（10：46）

柳瀬元総理大臣秘書官は、政務担当の今井総理大臣秘書官には、去年、みずからが国会に出席する前に問い合わせを受けた際に、3年前の4月に学園関係者と面会したと説明していたことを明らかにしました。

3年前の2月から3月ごろに計画を認識（10：15）

柳瀬元総理大臣秘書官は、学園が獣医学部新設を目指していることを初めて認識したのは、3年前（平成27年）の2月から3月ごろに面会した際だと説明しました。

首相の別荘でも面会 バーベキューにいた（10：12）



柳瀬元総理大臣秘書官は、学園の関係者とは、総理大臣官邸以外にも、山梨県にある安倍総理大臣の別荘に秘書官として同行した際に、面会したことがあると説明しました。また、柳瀬元総理大臣秘書官は加計学園の関係者といつ知り合ったのかを問われたのに対し、「平成25年5月に安倍

柳瀬氏参考人招致発言（午前）「加計学園関係者と面会認め

総理大臣の別荘がある河口湖で開かれたバーベキューに加計学園の理事長や事務局の方がいた記憶がある。一緒にゴルフをしたこともあったと思う」と述べました。

学園関係者と官邸で3回面会（9：58）

柳瀬元総理大臣秘書官は、3年前の4月以降も学園関係者と面会したかを問われ、「『今治市が国家戦略特区の提案を出す』ということ、一度、お話しに来たことがある」と述べました。そのうえで柳瀬氏は、学園の関係者との面会について、「総理大臣官邸では3回面会した」と述べました。面会の前後 首相には報告していない（9：37）

柳瀬元総理大臣秘書官は、3年前の4月に学園関係者と面会する前後に、安倍総理大臣にも報告したかと問われ、「安倍総理大臣には、事前にも事後にも報告していない」と述べました。

「首相案件」とは言っていない（9：35）

柳瀬元総理大臣秘書官は、3年前に学園の関係者らと面会した際に、愛媛県の担当者が記したとする文書のとおり、「この件は首相案件だ」と発言したのかについて、「安倍総理大臣が『獣医学部新設を早急に検討している』と述べていることは紹介したが、今治市の個別案件が首相案件とは言っていない」と述べました。

そのうえで、柳瀬氏は、「私はふだん、『首相』という言葉は使わない。文書に記載された内容には違和感がある」と述べました。

総理と一緒に面会（9：31）



柳瀬元総理大臣秘書官は、学園の関係者と知り合った経緯について、「安倍総理大臣と一緒にいた際に、学園の関係者と会ったことがあった」と述べました。

後任の秘書官に引き継がず（9：28）

柳瀬元総理大臣秘書官は、「加計学園の案件を、後任の総理大臣秘書官には引き継いでいない」と説明しました。

面会は今の獣医学部長（9：28）



柳瀬元総理大臣秘書官は、3年前に総理大臣官邸で面会した学園の関係者について、「当時は加計学園の関係者と認識していなかった」としながらも、新設された獣医学部の学部長を務めている吉川泰弘氏だったことを明らかにしまし

た。

総理への報告や指示ない（9：28）

柳瀬元総理大臣秘書官は、「この件について、安倍総理大臣に報告したことも、指示を受けたこともない」と述べました。

特別扱いなし（9：18）

柳瀬元総理大臣秘書官は、「私が具体的な事業者の選定に関与する余地はなかった。安倍総理大臣自身が答弁しているとおり、安倍総理大臣と加計理事長が友人関係だとは認識していたが、特別扱いをしたことはない」と述べました。

面会后 省庁とやり取りなし（9：15）

柳瀬元総理大臣秘書官は、学園の関係者と3年前の4月に面会したあとに、内閣府などの関係府省庁とやり取りしたことはないと説明しました。

3年前の2月～3月にも面会（9：14）



柳瀬元総理大臣秘書官は、学園の関係者とは、3年前の2月から3月ごろにも面会したと説明しました。

愛媛や今治の関係者 いたかわからず（9：14）

柳瀬元総理大臣秘書官は、面会者の中に愛媛県や今治市の関係者がいたかどうかはわからないと述べました。そのうえで、柳瀬氏は、「専門家と加計学園の事務局の人がほとんど話をしていて。愛媛県や今治市の関係者は、メインスピーカーではない人のなかでいたのかもしれない」と説明しました。

柳瀬氏参考人招致発言（午後）「愛媛県の文書は私の趣旨と違う」

NHK5月10日 15時12分



加計学園の獣医学部新設をめぐり、参議院予算委員会で、柳瀬元総理大臣秘書官らを参考人招致して質疑が行われました。主な発言です。

学園側から首相と理事長との関係について話ない（14：59）

柳瀬元総理大臣秘書官は、学園の関係者と総理大臣官邸で面会した際、学園側から、安倍総理大臣と加計理事長の関

係についての話はなかったと説明しました。

「加計学園ありき」を否定（14：13）
柳瀬元総理大臣秘書官は、「加計学園ありきだったのではないかと追及されたのに対し、「今治市はそうだったのかもしれないが、国家戦略特区は公正な手続きで決まった」と述べ、否定しました。

愛媛県の文書は私の趣旨と違う（13：30）



柳瀬元総理大臣秘書官は、3年前の4月に柳瀬氏と加計学園関係者との面会をめぐり愛媛県が作成した文書に書かれている内容と、柳瀬氏の認識に違いが生じていることについて問われたのに対し、「愛媛県の文書を拝見したが、私の理解している趣旨と違うと思う。第三者に配る場合には相手方に確認するのが当たり前だが私は事前にこのメモの確認は求められたことはない。どうしてそうなったか私には図りかねる」と述べました。

首相同席の面会は別荘での1回だけ（13：25）

柳瀬元総理大臣秘書官は、安倍総理大臣と一緒に学園の関係者と面会したのは、平成25年5月に、山梨県にある安倍総理大臣の別荘で会った1回だけだとして、「これ以外に安倍総理大臣とともに、加計学園の関係者と会った記憶はない」と述べました。

首相同席で新設の話出たことない（13：17）

柳瀬元総理大臣秘書官は、「安倍総理大臣と加計学園関係者が一緒にいるときに、獣医学部新設の話が出たことはない」と述べました。

党首討論、30日を軸に調整 自民立民、1年5カ月ぶり

共同通信 2018/5/10 20:32

衆院国家基本政策委員会の与野党筆頭理事が10日、国会内で会談し、今国会初となる党首討論の開催について、30日を軸に調整することで合意した。実現すれば2016年12月以来、約1年5カ月ぶりとなる。

自民党の松本純、立憲民主党の山内康一両氏が会談した。国会審議が正常化したことに加え、国民民主党の結成で野党再編が一段落したため、開催の環境が整った。

党首討論は45分間で、安倍晋三首相と主要野党の代表が対面で討論する。時間配分などを今後調整する。共同代表制の国民民主党は2人の代表のうち、どちらが討論に立つのか決める。

「働き方改革 実感ない」国家公務員の長時間労働など電話相談

NHK5月10日 4時10分



中央省庁が集まる東京 霞が関で働く国家公務員の長時間労働などの相談に労働組合が応じる電話相談が9日夜、都内で開かれました。

電話相談は国家公務員の労働組合「日本国家公務員労働組合連合会」が開きました。

電話相談では「国会審議の対応のため、今まさに長時間労働が続いていて、帰宅は毎晩深夜になっている」とか、「以前の部署では月に90時間以上の超過勤務をしても手当がほとんど支払われなかった」といった相談が寄せられ、相談員が各省庁の組合に具体的に相談することなどをアドバイスしていました。

去年、この組合などが霞が関で働く国家公務員を対象に行った調査では、2541人のうち6.5%に当たる160人余りが「過労死ライン」とされる月80時間以上の残業をしたと回答したということです。

9日は午後11時までに5件の相談が寄せられ、組合は引き続き相談に応じることにしています。

組合の秋山正臣中央執行副委員長は「仕事は多いのに定員削減のため人が少なく、長時間労働せざるをえない状況に追い込まれている公務員も多い。『働き方改革』を進めるのであれば公務員の長時間労働にも一定の歯止めがかかる対応を取ってほしい」と話していました。

「実感ない」働き方改革

人事院によりますと、長時間労働などの結果、死亡したり自殺したりしたとして民間企業の労災に当たる公務災害と認定された国家公務員は平成28年度、5人だったということです。

特に東京 霞が関の中央省庁で働く国家公務員については業務量の多さや国会審議への対応による長時間労働の問題が以前から指摘されています。

霞が関で働く30代の国家公務員の男性は「国会の会期中、自分は平均で月に100時間以上残業していることが多い。朝方まで働いたり電車で帰宅できた日も翌日は午前7時ぐらいに出勤したりする生活が続く」と話しています。

理由について、男性は「国会議員が質問する際、省庁は答弁書を作成するが、1行、1つの段落を書くだけで協議や決裁が必要になる。また、翌日に自分の働く部署に対する質問があるかどうか分かるまで帰ることができない」と話しています。

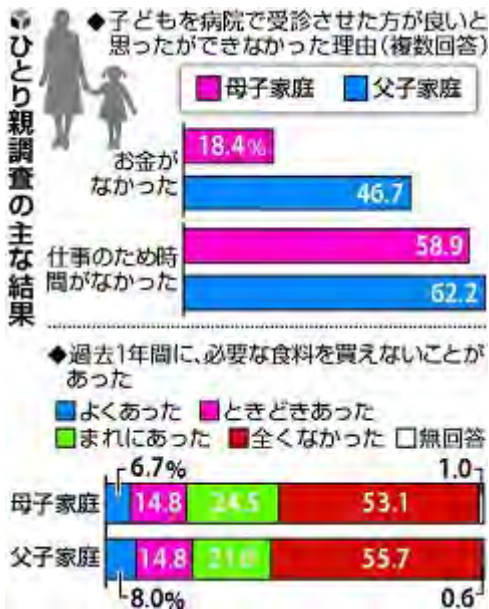
男性はみずからの体験として、「睡眠不足から食欲もわかず

長時間勤務による疲労のため仕事中に意識を失ったこともある」としたうえで、「定時での退庁や建物内の電灯を消して残業しない日を設けるといった取り組みも各省庁で行われているが、自分自身としては働き方改革が進んでいる実感はあまりない。個人的には長時間労働の改善を諦めている雰囲気もあると感じている」と話しています。そして「国民が安心できる社会に少しでも貢献したいと思いい公務員になったが、このまま仕事を続けていたら自分の体が壊れてしまう危機感を持っている。こうした労働環境についても国民に知ってもらいたい」と話しています。

母子家庭の54%、年収200万円未満...北海道

読売新聞 2018年05月10日 08時53分

北海道が道内のひとり親家庭を対象に実態調査を行ったところ、母子家庭の54・2%が年収200万円未満だった。



収入は父子家庭が母子家庭を大きく上回ったが、「家計が赤字」と回答したのは母子家庭で35・1%、父子家庭で40・3%に上った。このほかにも、ひとり親家庭では子どもの食事や健康管理にも影響が出るなど、厳しい生活実態が浮き彫りになった。

調査は昨年8月、道内84市町で児童扶養手当を受給しているひとり親家庭4495世帯に調査票を配布し、母子家庭1904世帯、父子家庭232世帯、判別不可33世帯の計2169世帯から回答を得た。9日の道議会特別委員会で結果を報告した。

保護者の雇用形態をみると、母子家庭では正規雇用が38・8%にとどまり、父子家庭の70・3%と大きく差が出た。厚生労働省が2016年度に実施した調査では、母子家庭の年収の全国平均は243万円。今回、回答した母子家庭の半数以上は200万円に届かなかった。父子家庭の8割超は200万円以上を得ていた。

一方、家計について赤字としたうち、「借金をして生活している」は、母子家庭15・3%に対し、父子家庭では25%。父子家庭の27・3%が「過去1年間にクレジットカードや借金の支払いができなかった経験がある」と答えた。

過去1年間で必要な食料を買えなかったことが「よくあった・ときどきあった」は母子、父子ともに2割を超えた。子どもを病院で受診させられなかったケースも、ともに3割近かった。

母子、父子ともに、多くが経済的に困っている状況のなか、「子どもに関する悩みの相談相手が誰もいない」としたのは母子家庭では8%だったが、父子家庭では23・9%に上った。

道は、父親が育児や経済状況の悩みを一人で抱え込む傾向があるとみている。子どもの貧困を招くひとり親家庭の孤立を防ぐため、年内にも全14振興局で自治体や企業、支援団体などで構成する「子どもの貧困対策ネットワーク会議」を設置する方針。「母子・父子自立支援員」がひとり親の生活相談に応じたり、求人情報を紹介したりするなどしていくという。

産経新聞 2018.5.10 23:48 更新

【激動・朝鮮半島】 暫定配備のF35米本土帰還 米空軍嘉手納基地から12機



岩国フレンドシップデー

ー2018で展示飛行した米海兵隊のF35B=5日午後、山口県岩国市(彦野公太郎撮影)

米空軍は10日までに、嘉手納基地(沖縄県嘉手納町など)に昨年11月までに暫定配備されたF35A最新鋭ステルス戦闘機12機全てが6カ月間の任務を終え、所属する米西部ユタ州のヒル空軍基地に5月上旬に帰還したことを明らかにした。

日米のステルス戦闘機F35 初の共同訓練始まる 青森 三沢基地

NHK5月10日 17時33分



最新鋭のステルス戦闘機F 3 5の日本とアメリカの機体がそれぞれ参加する、初めての日米共同訓練が10日から青森県の三沢基地を拠点に始まりました。

最新鋭のF 3 5戦闘機は、ことし1月に青森県の航空自衛隊三沢基地にF 3 5 Aが1機配備される一方、去年、山口県にあるアメリカ軍岩国基地にF 3 5 Bが16機、配備されています。

この日米双方のF 3 5が参加する初めての共同訓練が、10日から今月22日までの日程で三沢基地を拠点に始まり、10日は午後3時すぎにアメリカ軍のF 3 5、4機が次々と三沢基地を離陸しました。

東北防衛局によりますと、訓練は青森県沖の太平洋や秋田県沖の日本海上などで行われ、日米のF 3 5や航空自衛隊のF 1 5などの戦闘機が敵と味方に分かれて編隊を組み、戦闘態勢の確認を行うということです。

また、10日は訓練にあわせて、F 3 5の騒音の影響を調べる東北防衛局の調査が三沢基地の周辺で行われました。東北防衛局防音対策課の佐藤浩久課長は「きょうのF 3 5の騒音レベルは、ほかの戦闘機と同じ程度だったが、今後もしっかりと調査を続けたい」と話していました。

産経新聞 2018.5.10 22:08 更新

米国の大型無人機「ガーディアン」が国内初飛行 13日には一般公開



日本で初めて飛行した米国の大型無人機「ガーディアン」＝9日、長崎県壱岐市（米ジェネラル・アトムクス・エアロノーティカル・システムズ社提供）

米国の無人航空機メーカーが開発した海上偵察用の大型無人機「ガーディアン」が10日、長崎県壱岐市の空港を離陸し、日本での初飛行を行った。今後約3週間かけて計10回ほど飛行試験を実施し、関連データの収集などを行う。

ガーディアンは同日午前にも壱岐空港を離陸後、約3時間かけて壱岐島周辺の海上を飛行し、同空港に戻った。機体

は全長約11メートル、両翼の長さは24メートルで、遠隔操縦によって飛行する。

飛行試験では気象や海洋観測、海難救助支援に関するデータなども収集し、日本国内の研究機関に提供する。また、速度や高度をはじめとした飛行に関するデータは、無人機の飛行に関する国内の法制度作りに役立てられる。

ガーディアンを開発したのは米ジェネラル・アトムクス・エアロノーティカル・システムズ社。同社は日本でガーディアン売り込みを狙っており、国土交通省など各省庁の関係者から見守るなかでの初飛行となった。13日には同空港で飛行試験の一般公開も予定している。

校庭から避難、3カ月で367回 へり窓落下の小学校

朝日新聞デジタル伊藤和行 2018年5月10日 07時26分



児童が避難

した後、校庭（右側）付近の上空をオスプレイが飛行した＝2018年5月7日午後2時15分、沖縄県宜野湾市、伊藤和行撮影



地図



3カ月で367回、多い時には1日29回――。米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）に隣接し、昨年12月に米軍へりの窓落下事故が起きた普天間第二小学校では、いまでも米軍機が近づく度に児童たちが校庭から避難している。

市教委は「教育に大きな支障が出ている」と訴え、保護者は4月下旬、米軍に安全確保を働きかける会を結成した。

「避難して下さい」。7日昼すぎ、小学校の校庭に避難を呼びかける放送が流れた。昼休みにサッカーや鉄棒などをして遊んでいた児童約50人が、一斉に校舎に向かった。「またかー」。うんざりしたような表情の児童もいた。

爆音を響かせ、オスプレイが校庭から数百メートル南側の上空を通過した。児童たちは校庭に戻ったが、その後も10分おきに3回、米軍機が近くを飛び、その度に避難を繰り返した。

普天間第二小は、米軍ヘリが重さ約8キロの窓を落下させた昨年12月13日以降、校庭の使用を中止。2月13日に全面再開したが、児童らの安全を守るため沖縄防衛局が校舎屋上と校庭に職員ら5人を配置し、米軍機が学校に近づきそうになると避難を呼びかけている。

市教委によると、体育の授業中や休み時間の避難回数は8日までに計367回を数えた。1日に20回を超えた日も3日あり、最多は3月6日の29回だった。

日米両政府は2007年、普天…

日米、沖縄の倉庫群移転で合意へ 米軍施設返還計画 共同通信 2018/5/11 02:00

日米両政府が、沖縄県の米軍施設返還計画を巡り、県内の二つの米軍施設にある倉庫群を、米海兵隊基地キャンプ・ハンセン（金武町など）へ移転する計画で合意することが分かった。複数の政府関係者が10日、明らかにした。

日米両政府は、11日にも協議機関の日米合同委員会を開き、具体的な手続きで正式合意する予定だ。沖縄の基地集約に向けた取り組みだが、計画全体の遅れを指摘する声もある。

移転するのは、米軍のキャンプ瑞慶覧（北中城村など）と牧港補給地区（浦添市）の2施設にある倉庫群や車両整備工場、管理事務所など。

戸籍事務にマイナンバー 法制審の部会が中間試案 個人情報漏洩に罰則も

日経新聞 2018/5/11 0:00

法制審議会（法相の諮問機関）の戸籍法部会は11日、マイナンバーの戸籍事務への導入を柱とする中間試案を公表した。マイナンバーを提示すれば、戸籍証明書を取得せずに児童扶養手当の受給や婚姻届の提出などを可能にする。戸籍事務を扱う自治体職員などに個人情報の漏洩防止を義務付け、違反者に罰則を科す。2019年の通常国会で戸籍法改正案の提出を目指す。

戸籍法の改正は昨年9月に上川陽子法相が法制審に諮問した。全国の市町村が扱う戸籍事務にマイナンバーを活用し、利便性を高める狙い。早ければ今秋をめどに法制審の部会が答申をまとめる。

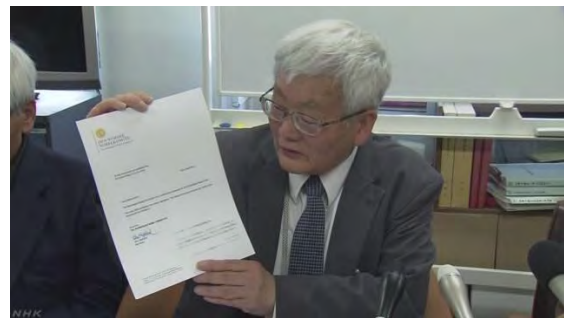
戸籍は全国約1900の市区町村が正本を管理しており、ほとんどの自治体は紙以外に電子データでも保存している。法務省が災害などに備えて保存している戸籍の副本データと、マイナンバーのデータをひも付けするシステムをつくる。本籍地ではない自治体でも、マイナンバーカードまたはマイナンバーを提示するだけで戸籍情報を照会できるようにする。

婚姻届の提出やパスポート（旅券）の発給申請、児童扶養手当の請求手続きなどで、戸籍証明書を取得する手間をなくす。これまでは、本籍地と違う市区町村に住んでいる人が手続きをする場合、わざわざ本籍地の市区町村に出向いたり郵送で取り寄せたりして戸籍証明書を取得する必要があった。

戸籍には親族や夫婦関係、本籍地などの個人情報が多く含まれる。不正な情報の参照を防ぐため、戸籍事務を扱う自治体職員や法務省の職員に、適切な措置を講じるよう省令で定める。画面上に警告メッセージを表示したり、万一不正なアクセスがあった場合、法務省に通知したりする仕組みなどを想定している。

戸籍法改正では、担当職員などがシステムを通じて取得した個人情報を漏洩した場合に、懲役や罰金などの罰則を科すことを検討している。6月上旬まで中間試案のパブリックコメントを実施する。その後法制審を再開し、さらに詳細な制度設計を詰める。

「高校生平和大使」がノーベル平和賞候補の1つに NHK 5月10日 19時27分



全国から選ばれた高校生が20年間にわたって国連に核兵器廃絶を求める署名を届けてきた活動「高校生平和大使」がことしのノーベル平和賞の300件余りある候補の1つに選ばれたことがわかりました。

これは活動を支援する団体が10日、長崎市役所で記者会見を開いて明らかにしました。高校生平和大使は長崎や広島など全国の高校生から選ばれ、毎年、核兵器廃絶を求める署名を国連に届けるなど、核なき世界の実現を国内外に訴える活動を続けています。

活動が始まって去年で20年たち、国連に提出した署名は167万人分余りに上っています。

この活動について、唯一の被爆国の若者の活動が核廃絶に向けて果たしている功績は大きいとして、団体がことし1

月、ノルウェーのノーベル委員会に推薦状を出したところ、先月下旬、正式な候補に選ばれたという連絡があったということです。高校生平和大使がノーベル平和賞の候補に選ばれたのはこれが初めてです。

ことしのノーベル平和賞の候補には330件が選ばれているということで、受賞者はことし10月5日に発表される予定です。

支援団体のメンバーの1人、平野伸人さんは「名誉ある賞にノミネートされたことは、これまでの活動を評価されたことだと思う。ただ、賞をもらうことではなく、核廃絶に向けて世界に働きかけることが目標なので、候補になったことを励みに、これからも活動を続けていきたい」と話していました。

富山 重巡洋艦「利根」乗員の証言録音発見 戦場生々しく

毎日新聞 2018年5月10日 09時08分(最終更新 5月10日 11時55分)



重巡洋艦「利根」元乗組員の体験談が記録されたテープを聴くセミナーの参加者＝入善町入膳の町民会館で2018年4月29日、青山郁子撮影

第二次世界大戦中、ソロモン海戦やガダルカナルに出撃した重巡洋艦「利根」に乗船した富山県入善町出身者3人（全員故人）が戦後、体験談を語った録音テープが発見された。「レイテで（重巡洋艦の）『筑摩』が目前で火を噴いて沈んでいった」といった生々しい証言が記録され、発見した「昭和の日」記念講演実行委員会の村上邦夫共同代表は「昔の海軍生活がどんなものだったのかが分かる貴重な記録だ」と話している。

同会は、主に新川地区の戦前から戦後にかけての記録を掘り起こしたり、調査・分析を続けている。今回、発見されたテープはオープンリール式だったため、デジタルに変換。4月29日には同町入膳の町民会館で初めて紹介された。

重巡洋艦とは、大型軍艦の種類の一つ。3人は1940年、舞鶴海兵団に志願し、42年2月に「利根」に乗船したという。

保管していたのは、3人のうち1人の遺族。テープの表紙には、「昭和46（1971）年8月20日」と記され、3人が語り合った約3時間が記録されていた。

「筑摩」沈没の時の体験談は「船は渦を巻き、体力ない者は巻き込まれて沈んでいった。みな母ちゃんと叫んで死んでいった。父ちゃんと言う者はおらず、まして、天皇陛下万歳などという者はいなかった。一晩中その声を聴いて意気消沈した」と証言。ほかにも「威嚇射撃では顔が見えるような位置でも一つも当たらなかった」「夜が長かったが死ぬとは思わなかった。船が傾いて同じ所ばかり回っている。あの時ばかりは覚悟した。これで終わりだと」などの肉声が残っていた。

音声は、20日午後2時から、同会館のセミナー「昭和19年、日本海軍・重巡『利根』とサ号作戦」（毎日新聞富山支局など後援）でも紹介される。村上さんは「戦争末期の海戦の実情を解明する機会にしたい」と話している。資料代300円。問い合わせは同会（090・8704・1835）。【青山郁子】